



androidtv



取扱説明書

Home Projector

EH-TW6250

マニュアル中の表示の意味 5

マニュアルの使い方と情報の探し方	7
キーワードで検索する	7
しおりから直接ジャンプする	7
必要なページだけ印刷する	7
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	8

プロジェクターを使用する前に 9

プロジェクターの各部名称と働き	10
プロジェクターの各部名称 - 前面	10
プロジェクターの各部名称 - 背面	11
プロジェクターの各部名称 - 底面	12
プロジェクターの各部名称 - プロジェクターリモコン	12
プロジェクターの各部名称 - メディアストリーミング端末用リモコン	14

プロジェクターを準備する 16

プロジェクターの設置	17
設置時のご注意	19
プロジェクターの設置・取り付け	19
投写距離	20
セーフティーワイヤーを取り付ける	21
プロジェクターを接続する	22
HDMIケーブルでビデオ機器と接続する	22
HDMIケーブルでコンピューターと接続する	22
iPad/iPhoneを接続する	23
外部機器を接続する	23
ARC対応AVアンプを接続する	23
外部スピーカーを接続する	24
リモコンに電池を取り付ける	25

リモコンを操作する	25
-----------------	----

プロジェクターの基本機能を使用する 27

プロジェクターの電源を入れる	28
Android TVを設定する	30
プロジェクターの電源を切る	32
メニューの言語を選択する	33
設置モードを選択する	34
メニューから設置モードを変更する	34
映像の位置を調整する（レンズシフト）	35
映像の高さを調整する	37
映像の形状を補正する	38
自動タテ補正	38
ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する	38
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	39
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	40
ズームスライダーで映像の大きさを調整する	42
フォーカススライダーで映像のピントを調整する	43
映像を切り替える	44
映像のアスペクト比を設定する	45
映像のアスペクト比を切り替える	45
アスペクトモードの種類	45
映像を最適化する（カラーモード）	47
カラーモードを変更する	47
カラーモードの種類	47
映像の画質を調整する	48
シャープネスを調整する	48
映像の解像感を調整する（イメージ強調）	48
イメージ強調の設定項目	49

フレーム補間を設定する	50
シーン適応ガンマを補正する	51
ランプの明るさを調整する	51
オートアイリスを設定する	52
映像の色合いを調整する	54
色温度を調整する	54
RGBを調整する（オフセット・ゲイン）	54
色相、彩度、明度を調整する	55
ガンマを調整する	56
プロジェクターの設定をメモリーに保存する	59
音量ボタンで音量を調整する	60
サウンドモードを切り替える	61
サウンドモードの種類	61
プロジェクターの便利な機能	62
HDMIリンク機能	63
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	63
映像と音声を一時的に遮断する（A/Vミュート）	66
セキュリティ機能	67
チャイルドロックを使用する	67
セキュリティケーブルを取り付ける	68
メニューの操作	69
プロジェクターメニューを操作する	70
ソフトキーボードを操作する	71
ソフトキーボードで入力可能な文字	71
画質メニュー	72
映像メニュー	74

設定メニュー	76
拡張設定メニュー	78
情報メニュー	80
情報メニュー - プロジェクター情報	80
初期化メニュー	82
プロジェクターをメンテナンスする	83
プロジェクターのメンテナンス	84
レンズを清掃する	85
本機を清掃する	86
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	87
エアフィルターと吸気口を清掃する	87
エアフィルターを交換する	87
ランプをメンテナンスする	89
ランプを交換する	89
ランプ点灯時間を初期化する	92
メディアストリーミング端末を取り外す	94
メディアストリーミング端末用リモコン	95
メディアストリーミング端末用リモコンをペアリングする	96
液晶パネルの色ずれを補正する（液晶アライメント）	97
困ったときに	99
トラブルの対処方法	100
インジケーターの見方	101
電源に関するトラブル	103
電源が入らない	103
予期せず電源が切れる	103

映像に関するトラブル.....	104
映像が表示されない.....	104
映像がゆがむ.....	105
映像がぼやける.....	105
映像の一部が表示されない.....	105
映像にノイズが入る、乱れる.....	106
映像の明るさや色合いが違う.....	106
映像が上下反転して表示される.....	106
音声に関するトラブル.....	108
リモコン操作に関するトラブル.....	109
HDMIリンクに関するトラブル.....	110

付録..... 111

オプション・消耗品一覧.....	112
設置用金具.....	112
外付けオプション.....	112
消耗品.....	112
スクリーンサイズと投写距離.....	113
対応解像度.....	115
本機仕様.....	116
接続端子.....	116
外形寸法図.....	118
警告ラベル.....	119
安全規格対応シンボルマークと説明.....	120
用語解説.....	122
一般のご注意.....	124
本機を廃棄するときは.....	124
使用限定について.....	124
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意.....	124

瞬低（瞬時電圧低下）基準について.....	124
JIS C 61000-3-2適合品.....	124
表記について.....	125
商標について.....	125
ご注意.....	125
著作権について.....	126

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
 ボタン	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：  ボタン
[メニュー名/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [画質・映像] メニューを選択する  [画質・映像] > [色設定]
	関連事項を記載しているページを示しています。
	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

» 関連項目

- ・「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.7](#)

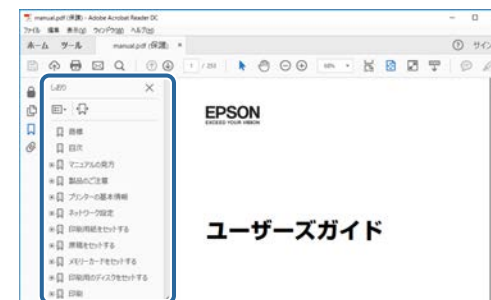
- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- ・「キーワードで検索する」 [p.7](#)
- ・「しおりから直接ジャンプする」 [p.7](#)
- ・「必要なページだけ印刷する」 [p.7](#)

- ・ Windows : [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。
- ・ Mac OS : commandキーを押したまま [←] キーを押します。



キーワードで検索する

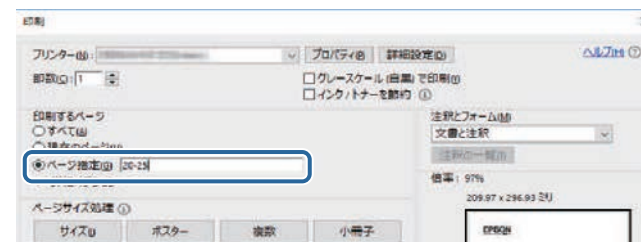
[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード (語句) を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- ・ 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例 : 20-25
- ・ 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例 : 5,10,15



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

dreamio.jp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

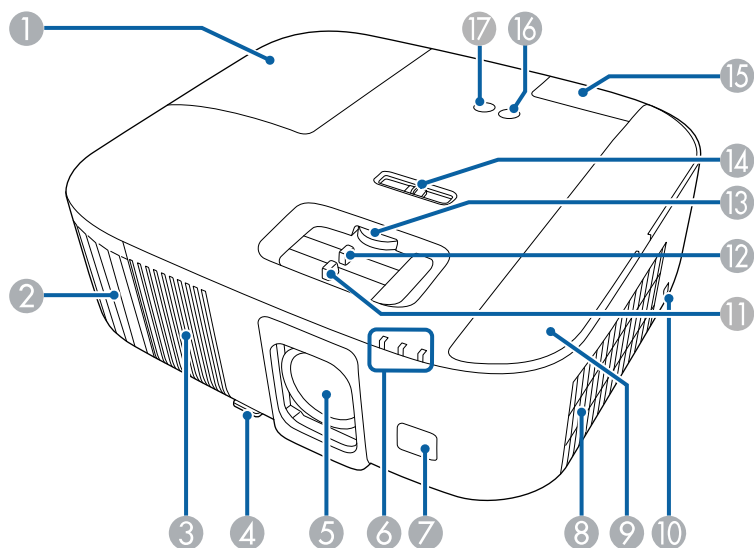
- ・「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.10](#)

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面」 [p.10](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 [p.11](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 [p.12](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - プロジェクターリモコン」 [p.12](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - メディアストリーミング端末用リモコン」 [p.14](#)

プロジェクターの各部名称 - 前面



名称	働き
① ランプカバー	ランプ交換時に開閉します。
② 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。

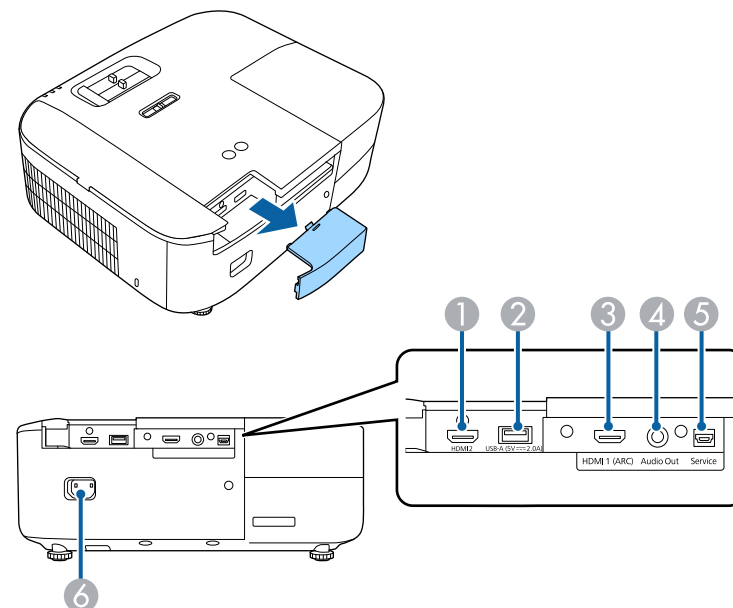
名称	働き
	⚠ 警告 排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
③ スピーカー	音声を出力します。
④ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
⑤ 投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑥ インジケーター	本機の状態を表示します。
⑦ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑧ 吸気口（エアフィルター）	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑨ エアフィルターカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。メディアストリーミング端末を接続するときに開閉します。
⑩ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。

名称	働き
⑪ フォーカススライダー	映像のピントを調整します。
⑫ ズームスライダー	映像のサイズを調整します。
⑬ レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。
⑭ ヨコ補正スライダー	映像のヨコ方向のゆがみを補正します。 [設定] メニューの [台形補正] が [Quick Corner] に設定されているときは使用できません。
⑮ リアカバー	HDMI2端子、USB-A端子を使うときに開けます。
⑯ 電源ボタン【  】	プロジェクターの電源をオン/オフします。
⑰ ソースボタン【  】	[HDMI1] 端子と [HDMI2] 端子の映像を切り替えます。

▶ 関連項目

- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.87](#)
- ・「インジケーターの見方」 [p.101](#)
- ・「リモコンを操作する」 [p.25](#)
- ・「ズームスライダーで映像の大きさを調整する」 [p.42](#)
- ・「フォーカススライダーで映像のピントを調整する」 [p.43](#)
- ・「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.38](#)
- ・「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.35](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.37](#)

プロジェクターの各部名称 - 背面



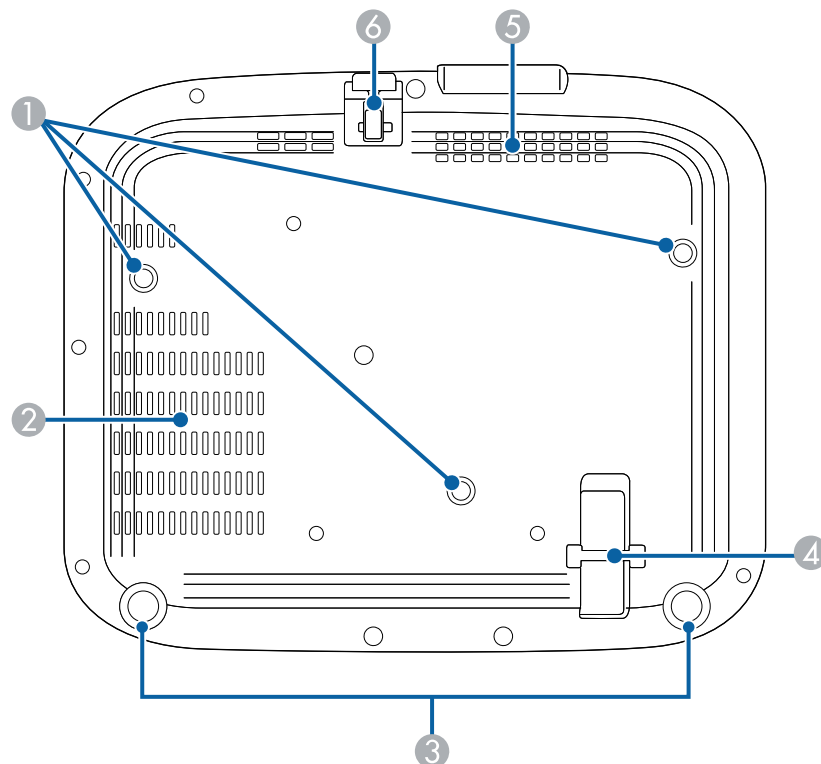
名称	働き
① HDMI2端子	同梱のメディアストリーミング端末を接続します。 この端子はHDCP 2.3に対応しています。
② USB-A (5V --- 2.0A) 端子	メディアストリーミング端末に電力を供給します。 以降はUSB-A端子と記載します。
③ HDMI1 (ARC)端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 この端子はHDCP 2.3に対応しています。 この端子はHDMI ARCに対応しています。

名称	働き
④ Audio Out端子	現在の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
⑤ Service端子	通常は使用しません。
⑥ 電源端子	電源コードを接続します。

関連項目

- ・「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)

プロジェクターの各部名称 - 底面



名称	働き
① 天吊り固定部 (3箇所)	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をここに取り付けます。
② 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。
③ リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
④ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 また、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けることができます。
⑤ 吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑥ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

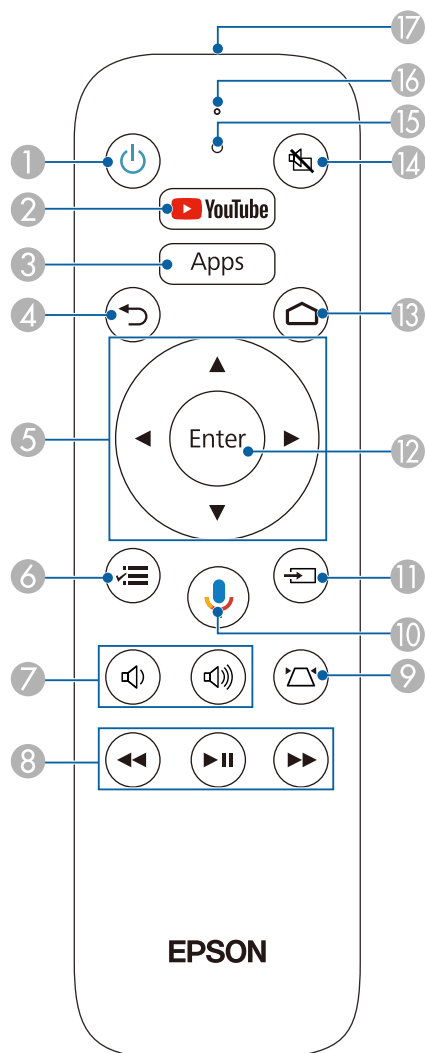
関連項目

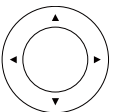
- ・「映像の高さを調整する」 [p.37](#)
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.68](#)

プロジェクターの各部名称 - プロジェクターリモコン

プロジェクターとエプソン製メディアストリーミング端末 (ELPAP12) を操作できるリモコンです。

本書では断りがない限り、プロジェクターリモコンでの操作を説明しています。



名称	働き
① 電源ボタン 	プロジェクターの電源をオン/オフします。
② YouTubeボタン 	YouTubeアプリを開きます。
③ Appsボタン 	アプリの一覧を表示します。
④ 戻るボタン 	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑤ 上下左右ボタン 	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ メニューボタン 	メニュー画面を表示/終了します。投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。
⑦ 音量上げ/下げボタン 	スピーカーやヘッドフォンの音量を調整します。 本機に接続しているBluetoothオーディオ機器の音量も調整できます。
⑧ 再生操作ボタン 	メディアストリーミング端末やHDMI CEC規格対応のビデオ機器を操作します。
⑨ 台形補正ボタン 	〔台形補正〕調整画面、または〔Quick Corner〕選択画面を表示します。

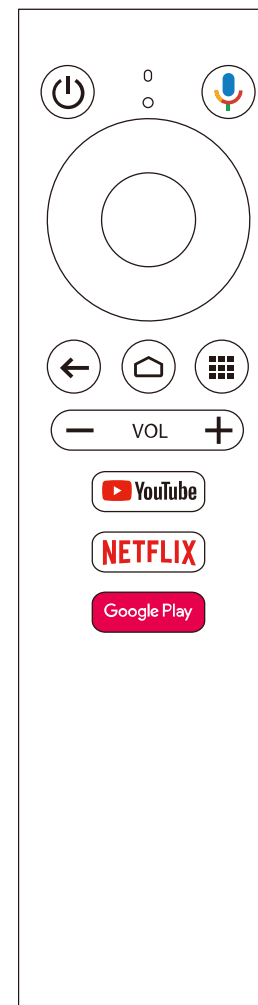
名称	働き
⑩ Google Assistant ボタン 	400,000以上の映画やコンテンツに素早くアクセスできます。おすすめのコンテンツを楽しんだり、スマートホーム機器を操作したりできます。
⑪ ソースボタン 	〔HDMI1〕端子と〔HDMI2〕端子の映像を切り替えます。
⑫ 【Enter】ボタン 	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑬ ホームボタン 	Android TV™のホーム画面を表示します。
⑭ A/Vミュートボタン 	映像と音声を一時的に遮断します。
⑮ インジケーター	リモコン信号が出力されているときに点灯します。
⑯ マイク	Google Assistantボタンを押したときに、ここで音声を感じ知します。
⑰ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.47](#)
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.39](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.40](#)
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.28](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.60](#)
- ・「映像と音声を一時的に遮断する（A/Vミュート）」 [p.66](#)
- ・「プロジェクターメニューを操作する」 [p.70](#)

プロジェクターの各部名称 - メディアストリーミング 端末用リモコン

エプソン製メディアストリーミング端末（ELPAP12）を本機以外の映像機器に接続するときは、このリモコンで操作します。



▶ 関連項目

- ・「メディアストリーミング端末を取り外す」 [p.94](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

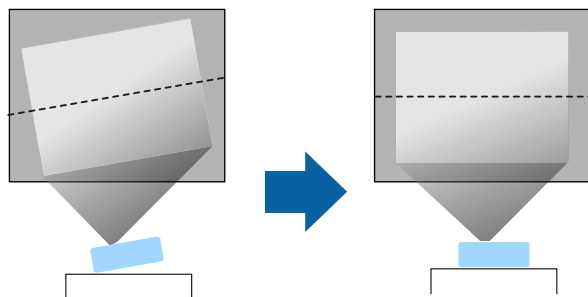
- ・「プロジェクターの設置」 [p.17](#)
- ・「セーフティワイヤーを取り付ける」 [p.21](#)
- ・「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 [p.25](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

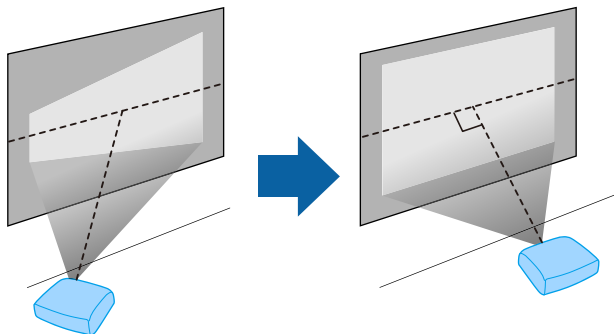
位置を固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- ・プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- ・通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を使って映像を補正します。投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

⚠ 警告

- ・天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- ・プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- ・天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具を使用し、プロジェクターの天吊り固定部すべてに確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- ・湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

- ・油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- ・溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
- ・油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- ・アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
- ・イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）
- ・加湿器の近く

⚠ 警告

- ・本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターにホコリが詰まって、故障や火災につながる可能性があります。
- ・不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- ・高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- ・塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- ・本機を以下の状態で投写しないでください。故障や事故の原因となります。
 - ・縦置きして投写しない
 - ・上または下に向けて投写しない
 - ・左右に傾けて投写しない
- ・本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]
- ・湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

▶ 関連項目

- ・「設置時のご注意」 [p.19](#)
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.19](#)
- ・「投写距離」 [p.20](#)

- ・「映像の形状を補正する」 [p.38](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

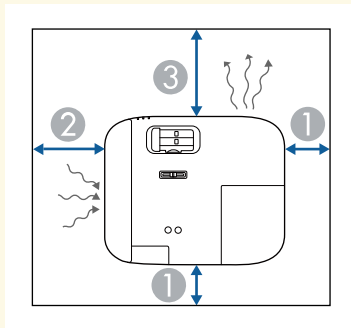
設置時のご注意

設置の際には以下の点にご注意ください。

設置スペース

注意

- ・ 吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。
- ・ 棚や箱の中などの空気が循環しない場所には設置しないでください。

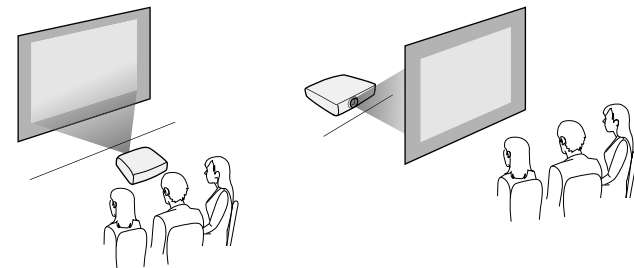


- ① 10 cm
- ② 20 cm
- ③ 30 cm

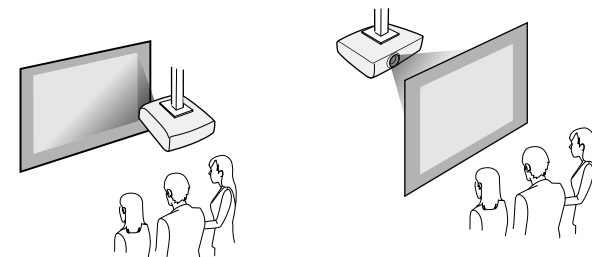
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、[拡張設定]メニューで[設置モード]を選択します。

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 [p.34](#)

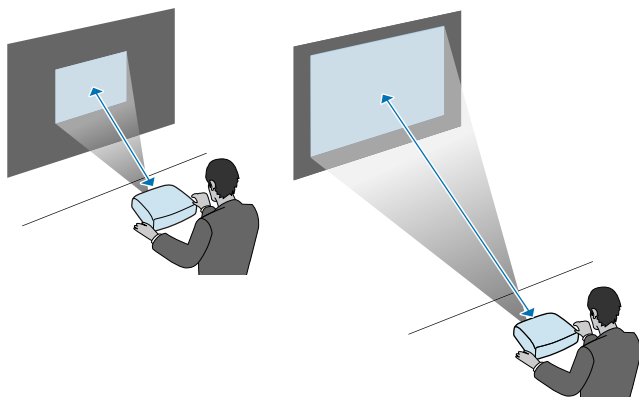
投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

付録を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



» 関連項目

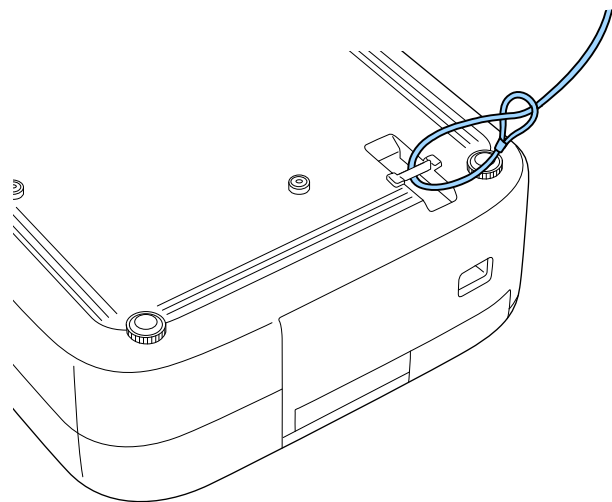
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 [p.113](#)

天井、壁、棚の上などの高い場所に設置するときは、プロジェクターの落下を防ぐため、オプションのセーフティーワイヤーセットを使ってプロジェクターを設置場所に固定してください。

⚠ 警告

セーフティーワイヤーは、必ずエプソン純正の天吊り金具に同梱されているものをご使用ください。セーフティーワイヤーは、別途セーフティーワイヤーセット ELPWR01としてもお買い求めいただけます。

- 1 セーフティーワイヤーを本機のセキュリティケーブル取付け部に通します。



- 2 セーフティーワイヤーのもう一端を、市販の取り付け金具など十分な強度のある場所に取り付けます。ワイヤーが長いときは二重に巻き付けるなど、できるだけたわまないようにしてください。

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

- ・ 接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。
- ・ 接続機器のケーブルを本機に接続した後に、本機の電源コードを接続してください。

▶ 関連項目

- ・ 「HDMIケーブルでビデオ機器と接続する」 [p.22](#)
- ・ 「HDMIケーブルでコンピューターと接続する」 [p.22](#)
- ・ 「iPad/iPhoneを接続する」 [p.23](#)
- ・ 「外部機器を接続する」 [p.23](#)

HDMIケーブルでビデオ機器と接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続できます。

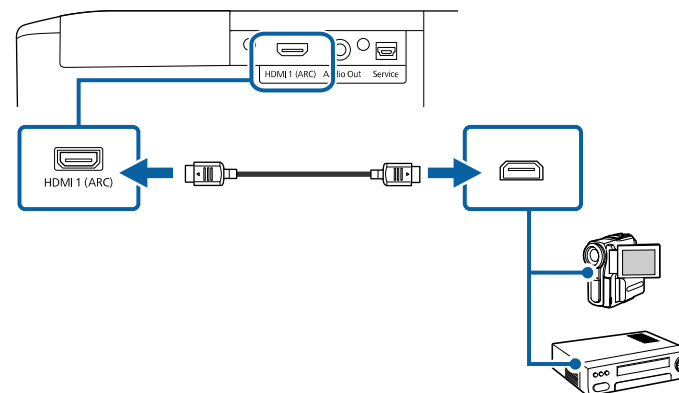
注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。



- ・ 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- ・ 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ・ ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。

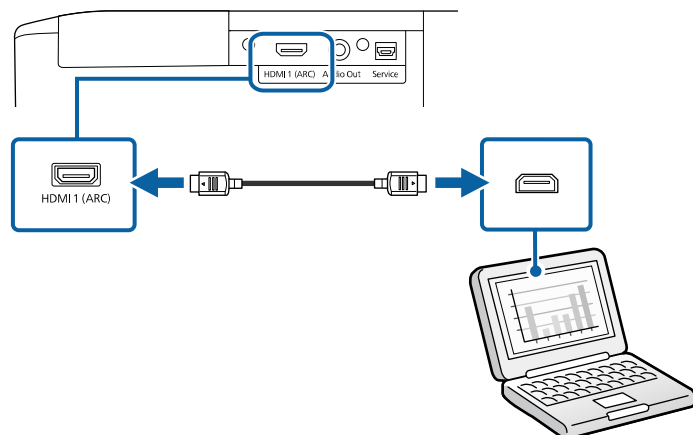


HDMIケーブルでコンピューターと接続する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続できます。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI端子に接続します。



iPad/iPhoneを接続する

iPadやiPhoneを接続して映像を投写できます。市販のHDMI変換アダプターを使って、本機のHDMI端子に接続します。

外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

▶ 関連項目

- ・「ARC対応AVアンプを接続する」 [p.23](#)
- ・「外部スピーカーを接続する」 [p.24](#)

ARC対応AVアンプを接続する

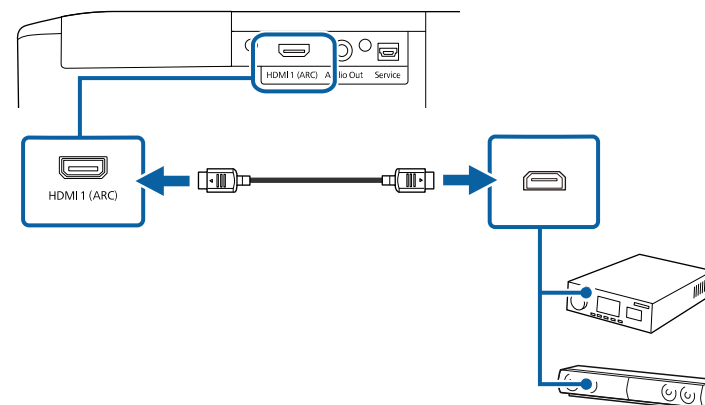
HDMI端子を搭載したAVアンプやサウンドバーなどの外部スピーカーを使用しているときは、イーサネット対応のHDMIケーブルを使って、これらの機器に音声を出力できます。



- ・ 本機にAVアンプを接続しているときは、[HDMIリンク] を [オン] に設定します。
 - ☛ [設定] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]
- ・ 本機のHDMI1 (ARC)端子から音声を出すときは、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。
 - ☛ [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]
- ・ ARCの対応音声形式について詳しくは、『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

- 1** AVアンプやスピーカーのHDMI出力端子（ARC対応）にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI1 (ARC)端子に接続します。



- 3** 必要に応じてAVアンプやスピーカーの設定をしてください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

外部スピーカーから音声を出力するときは、[設定] メニューの[音声出力機器]を[プロジェクター]に設定します。[音声出力機器]が[AVアンプ]に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。

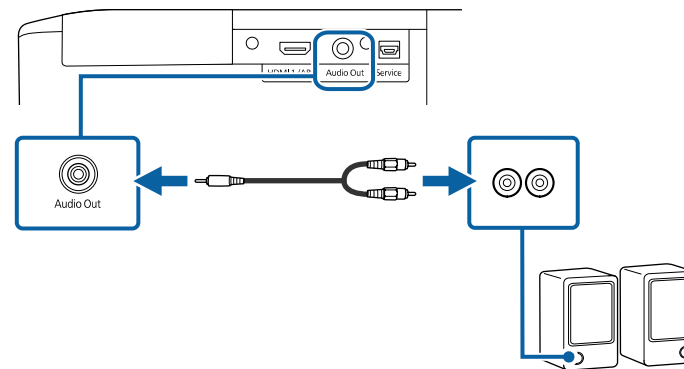
☛ [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]



- ・スピーカー付きのアンプに本機を接続することもできます。
- ・外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

- 1** 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
- 2** ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
- 3** 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。

- 4** 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機のAudio Out端子に接続します。



▶ 関連項目

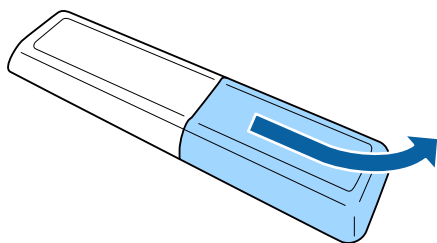
- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

本機に付属の単4形電池2個をリモコンに取り付けます。

注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

- 1 電池カバーを外します。

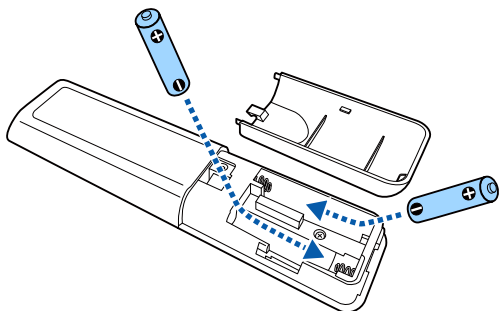


- 2 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

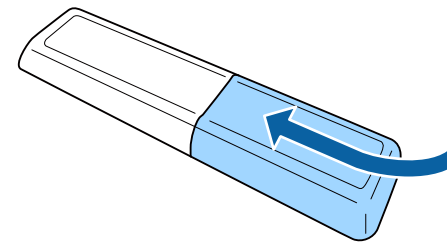
- 3 電池の + と - の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認して、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



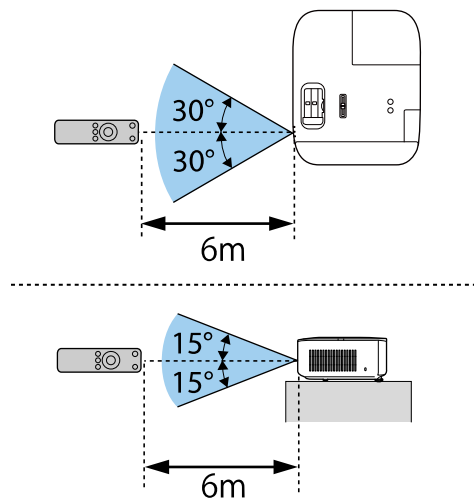
関連項目

- ・「リモコンを操作する」 [p.25](#)

リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



- ・ 蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

プロジェクターの基本機能を使用する

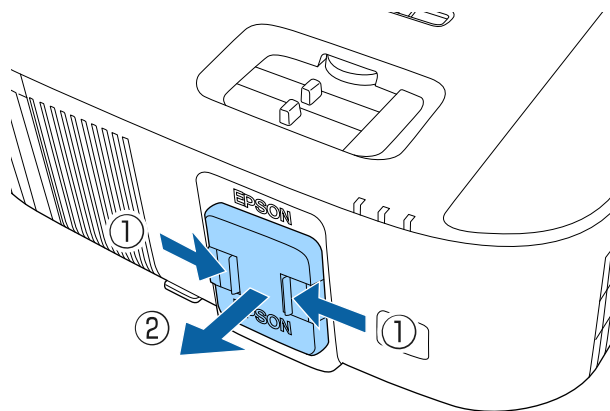
本機の基本機能を説明します。

▶ 関連項目

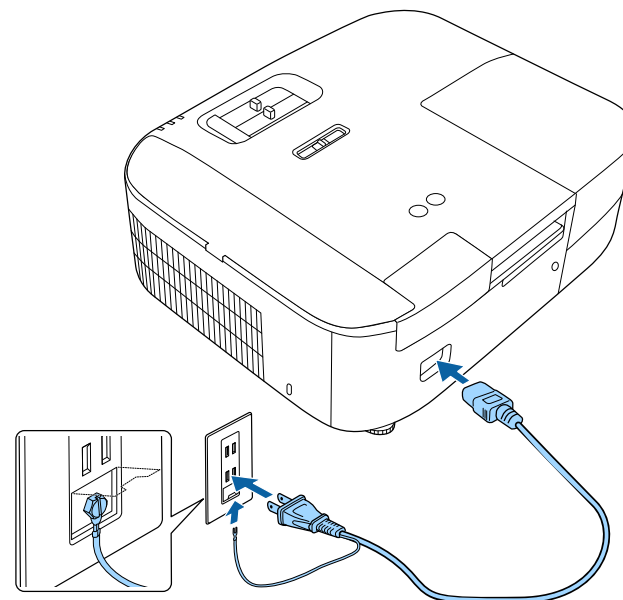
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.28](#)
- ・「プロジェクターの電源を切る」 [p.32](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.33](#)
- ・「設置モードを選択する」 [p.34](#)
- ・「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.35](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.37](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.38](#)
- ・「ズームスライダーで映像の大きさを調整する」 [p.42](#)
- ・「フォーカススライダーで映像のピントを調整する」 [p.43](#)
- ・「映像を切り替える」 [p.44](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.45](#)
- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.47](#)
- ・「映像の画質を調整する」 [p.48](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.54](#)
- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.59](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.60](#)
- ・「サウンドモードを切り替える」 [p.61](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

1 レンズカバーを取り外します。



2 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

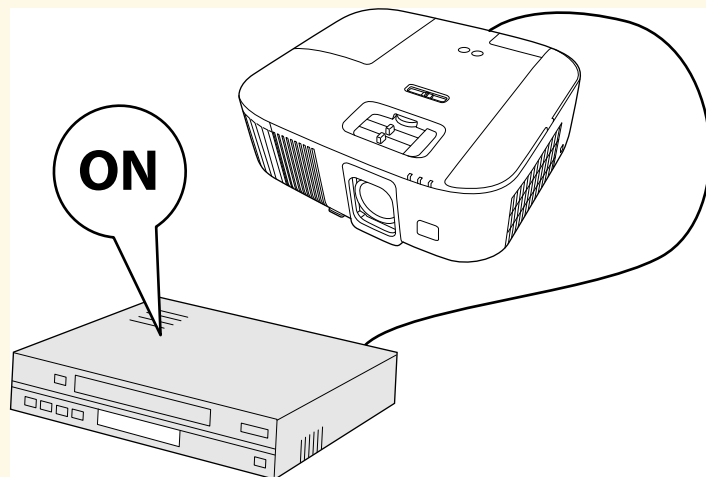
本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

3 プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。



コンピューターやビデオ機器を接続したときは、プロジェクターの電源を入れてから、接続機器の電源を入れます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- ・接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ・ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- ・DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- ・プロジェクターまたはリモコンの  ボタンを押して入力ソースを検出します。

⚠ 警告

- ・投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- ・本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・レンズカバーを取り付けたまま投写しないでください。レンズカバーが発熱して、やけどやけがの原因となることがあります。
- ・投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- ・本機の光源には、高圧の水銀ランプを使用しています。水銀ランプの性質上、振動や衝撃、使用時間の経過によってランプが破裂したり、点灯しなくなったりすることがあります。ランプが破裂すると、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因になります。次のことを守って安全にお使いください。
 - ・ランプを分解したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・使用中は本機に顔を近づけないでください。
 - ・天吊り設置しているときは、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。清掃やランプ交換の際には、ガラス破片でけがをしないように、また破片が目や口に入らないように十分注意してください。
 - ・ランプが破裂した場合は、すみやかに換気してください。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- ・ [拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。コンセントに電源プラグが差し込まれた状態で、停電復旧やブレーカー操作による電源供給が発生すると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- ・ お子様が誤って電源を入れないように、本機には [チャイルドロック] 機能が装備されています。
 - ☛ [設定] > [チャイルドロック]
- ・ 本機を標高1,500 m以上の場所を使用するときは、[拡張設定] メニューの [高地モード] を [オン] にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
 - ☛ [拡張設定] > [高地モード]

▶ 関連項目

- ・ 「Android TVを設定する」 [p.30](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

Android TVを設定する

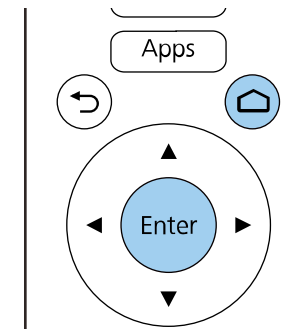
最初に本機の電源を入れたときには、Android TVの初期設定が必要です。



初期設定が完了した後も、設定はいつでも変更できます。
Android TVのホーム画面右上の  を選択して、設定を変更してください。

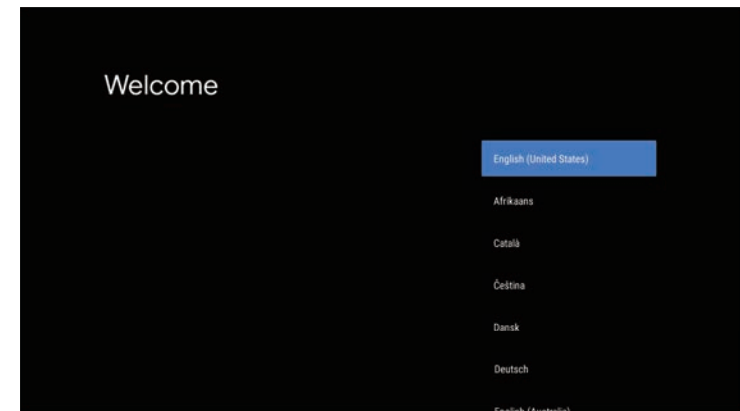
1 本機の電源を入れます。

- 2** ペアリング画面が表示されたら、プロジェクターリモコンの【Enter】ボタンと  ボタンを同時に長押しして、本機とリモコンをペアリングしてください。



ペアリングが始まると、リモコンのインジケータが点滅します。終了すると、インジケータは消灯します。

- 3** 言語選択画面が表示されたら、使用したい言語を選択します。



- 4** Wi-Fi設定画面が表示されたら、接続する無線LANを選択します。
画面の指示に従って必要な設定をします。
 - ・ オンラインコンテンツを視聴するには、インターネット接続が必要です。Wi-Fiが使用できることを確認してください。
 - ・ アプリのダウンロードやオンラインコンテンツを視聴する際の通信料はお客様の負担となります。
- 5** ログイン画面が表示されたら、Googleアカウントでログインします。
 - ・ Googleアカウントでログインすると、Google Playからさまざまな人気アプリやゲームをダウンロードできます。
 - ・ Googleアカウントは、お使いのコンピューターやスマートフォンからも作成できます。

初期設定が完了すると、ホーム画面が表示されます。

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- ・本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。



「[USB給電]」を「[常時オン]」に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときもメディアストリーミング端末に電力を供給できます。メディアストリーミング端末の起動を早め、ファームウェアの自動更新を可能にします。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [USB給電]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

- 1** プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  を押す
いいえ: 他のボタンを押す

- 2** 再度電源ボタンを押します。（電源を切らないときは、他のボタンを押します。）
投写映像が消えて、ステータスインジケーターが消灯します。
- 3** 本機を搬送または保管するときは、ステータスインジケーターが消灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。
- 4** レンズカバーを取り付けます。

〔言語〕設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 リモコンの ☰ ボタンを押します。
- 3 〔拡張設定〕を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4 〔言語〕を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 6 ☰ ボタンまたは ↶ ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント] : 机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア] : リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

▶ 関連項目

- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 [p.34](#)
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.19](#)

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

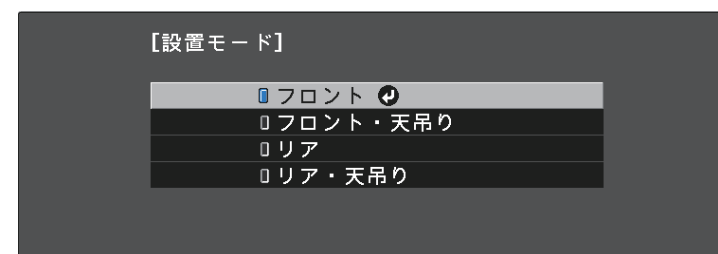
- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リモコンの  ボタンを押します。

- 3** [拡張設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4** [設置モード] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択して、【Enter】ボタンを押します。



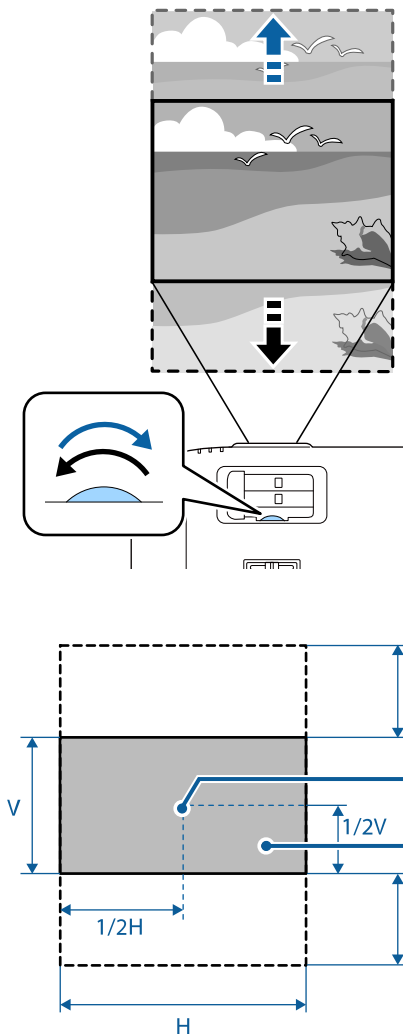
本機を投写面に対して平行に設置できないときや、映像の縦方向の位置を調整したいときは、レンズシフト機能を使って映像の位置を移動します。

注意

画面の位置を上下方向に調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。上から下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2 レンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



- ① レンズの中心
- ② レンズシフトを使用していないときの投写映像

- ③ 最大可動領域：V × 60%

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

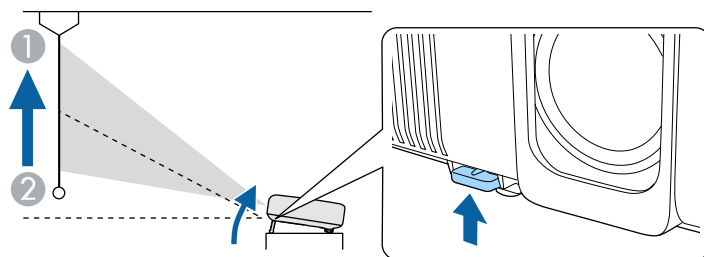
- ① フットを伸ばす
- ② フットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

- ・「映像の形状を補正する」 [p.38](#)

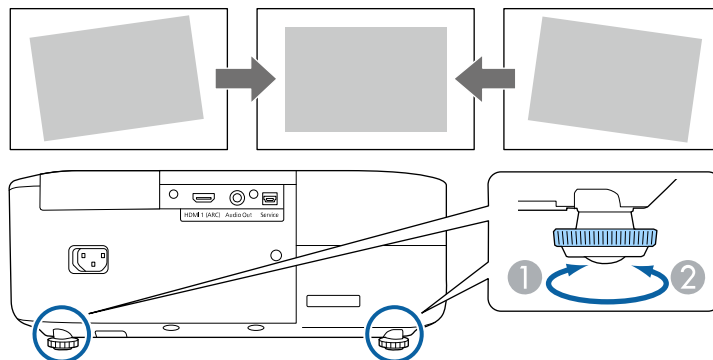
- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** フットレバーを押し上げ、本機の前面を持ち上げます。



プロジェクターからフロントフットが伸びます。

約10度まで角度を調整できます。

- 3** 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

▶ 関連項目

- ・「自動タテ補正」 [p.38](#)
- ・「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.38](#)
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.39](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.40](#)

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、[自動タテ補正]によって縦方向のゆがみが自動的に補正されます。

[自動タテ補正]で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- ・投写角度が上下約30°以内
- ・[拡張設定]メニューの[設置モード]が[フロント]に設定されている



- ・[自動タテ補正]で映像を補正しないときは、[自動タテ補正]を[オフ]に設定します。
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 [p.34](#)

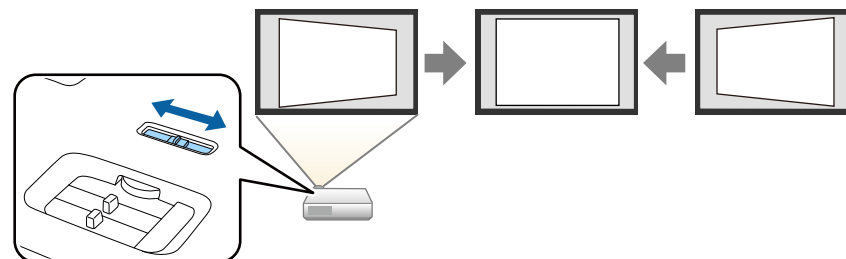
- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)
- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する

ヨコ補正スライダーを使用して、映像のゆがみを補正します。スクリーンに対して斜めに設置しているときなどに使用します。

投写映像を正しく補正できる投写角度は、左右約30°までです。

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。



補正後は、映像が少し小さくなります。



- ・プロジェクターが手の届かない場所に設置されているときは、リモコンの  ボタンで映像のゆがみを補正してください。
- ・メニューからも映像のゆがみを補正できます。
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

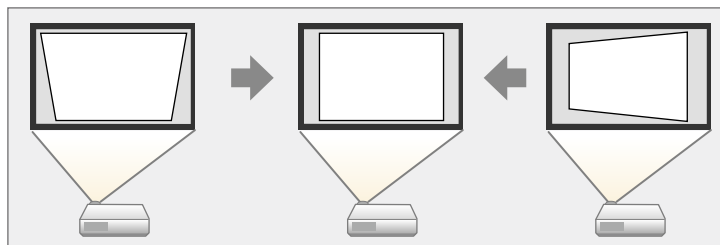
▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.76

台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

映像のゆがみを補正します。

リモコンの $\square$ ボタンを押して、映像の縦方向、横方向のゆがみをそれぞれ補正します。



- ・同時に複数の補正方法を使って補正することはできません。
- ・映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°以内のときです。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

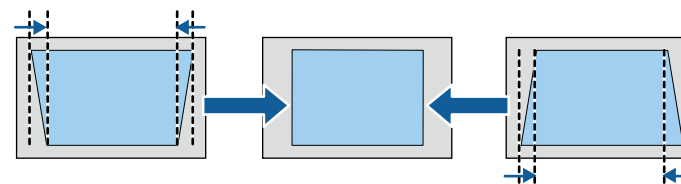
2 リモコンの $\square$ ボタンを押します。

〔台形補正〕調整画面が表示されます。

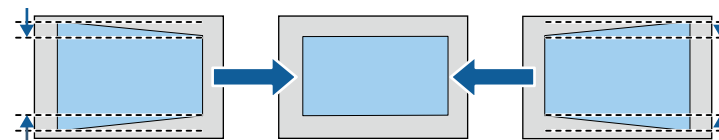


3 リモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択して、映像の形状を補正します。

- ・〔タテ補正〕



- ・〔ヨコ補正〕

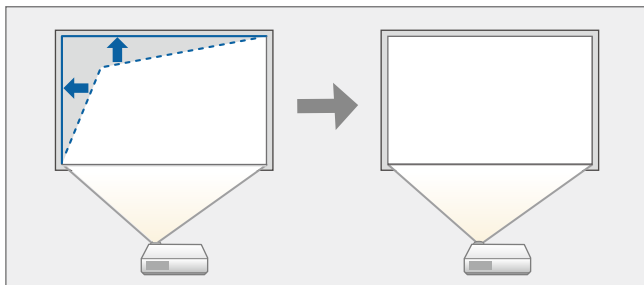


4 終了したら、 $\rightarrow$ ボタンを押します。

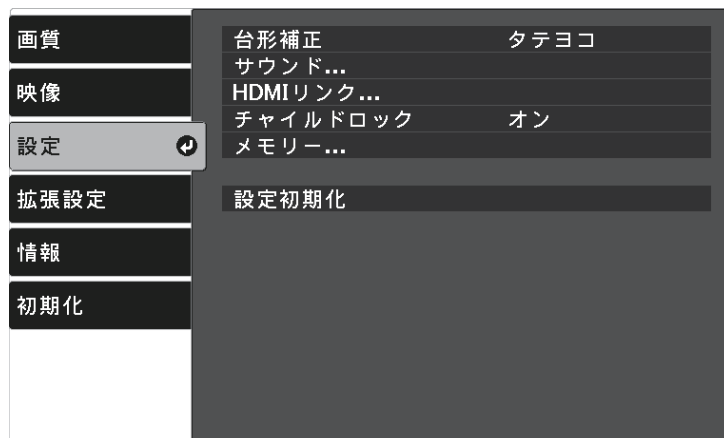
補正後は、映像が少し小さくなります。

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

【Quick Corner】機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。

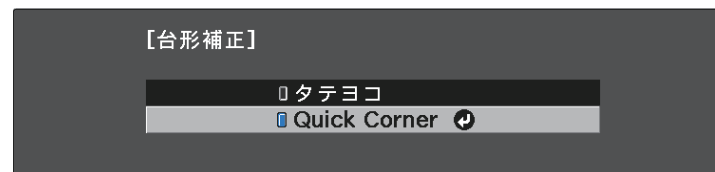


- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 【設定】を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4 【台形補正】を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5 【Quick Corner】を選択して、【Enter】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【Enter】ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

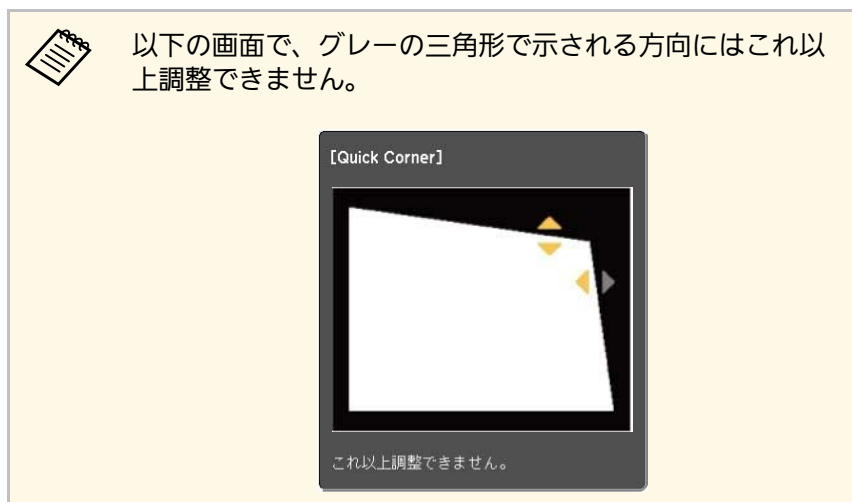
- 6 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【Enter】ボタンを押します。



Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに  ボタンを約2秒間押して、【はい】を選択します。

- 7 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。

【Enter】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

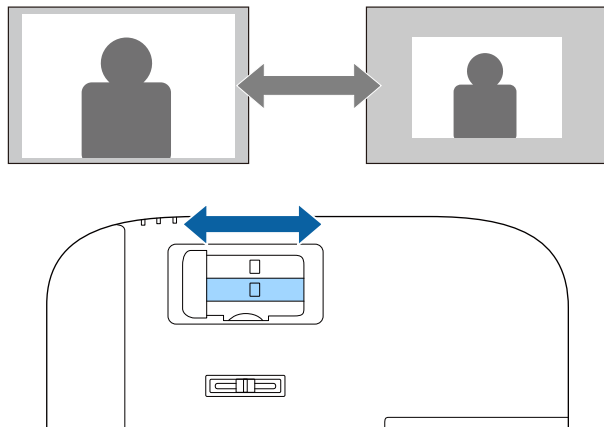
9 終了したら、ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設定]メニューの[台形補正]が[Quick Corner]に設定されます。リモコンのボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

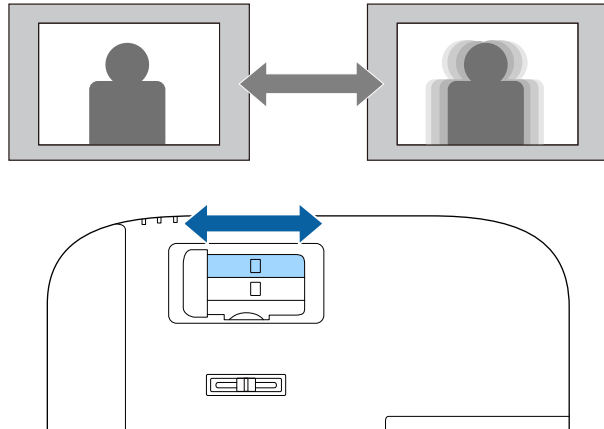
▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

ズームスライダーで映像の大きさを調整できます。



フォーカススライダーでピントのズレを補正します。



複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1** 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2** ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3** 目的の機器からの映像が表示されるまで、リモコンの  ボタンを押します。



映像が表示されないときは、本機とビデオ機器が正しく接続されていることを確認してください。

本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。

常に特定のアスペクト比で投写するときは、「映像」メニューでアスペクトを設定します。

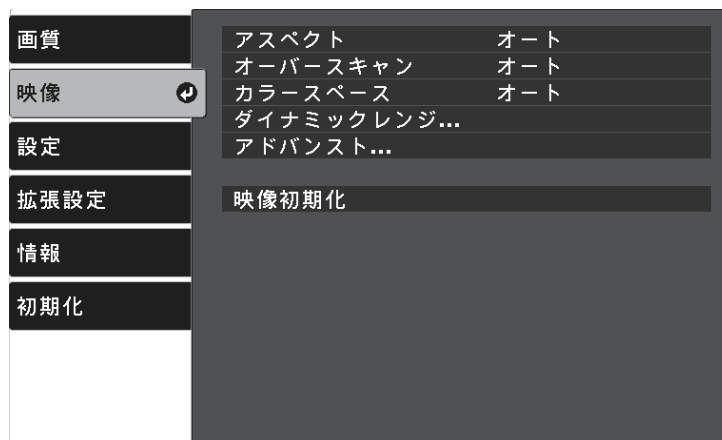
▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 [p.45](#)
- ・「アスペクトモードの種類」 [p.45](#)
- ・「映像メニュー」 [p.74](#)

映像のアスペクト比を切り替える

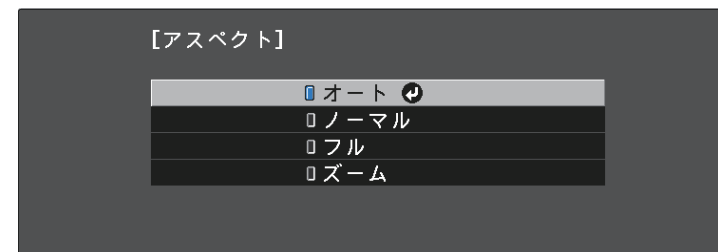
投写する映像のアスペクト比（縦横比）を切り替えます。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リモコンの  ボタンを押します。
- 3** 「映像」を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4** 「アスペクト」を選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 5** 入力信号に合わせてアスペクト比を選択して、【Enter】ボタンを押します。



選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.74](#)

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- ・著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号によってアスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア全体に映像を表示します。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持して、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 [p.47](#)
- ・「カラーモードの種類」 [p.47](#)

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** リモコンの  ボタンを押します。
- 3** 「画質」を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4** 「カラーモード」を選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 5** お好みのカラーモードを一覧から選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 6**  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

カラーモードの種類

投写環境や映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ビビッド	色鮮やかにさまざまなコンテンツを楽しむ場合に適しています。
ナチュラル	自然な色合いのモードです。映像の色調整を行うときは、本モードを選択することをお勧めします。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。

投写映像の画質を細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「シャープネスを調整する」 [p.48](#)
- ・「映像の解像感を調整する（イメージ強調）」 [p.48](#)
- ・「フレーム補間を設定する」 [p.50](#)
- ・「シーン適応ガンマを補正する」 [p.51](#)
- ・「ランプの明るさを調整する」 [p.51](#)
- ・「オートアイリスを設定する」 [p.52](#)

シャープネスを調整する

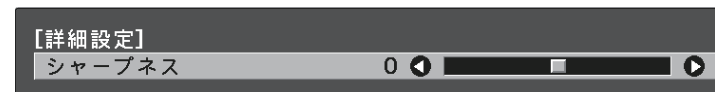
投写映像の画質を細かく調整できます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 「画質」を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4 「[詳細設定]」 > 「シャープネス」の順に選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5 左右ボタンを押して、映像の輪郭を調整します。



- 6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

映像の解像感を調整する（イメージ強調）

映像の解像感を調整することで、質感や素材感のあるくっきりとした映像を表現できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。

- 3** 「画質」を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4** 「詳細設定」>「イメージ強調」の順に選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 調整する項目を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 6** それぞれの項目を調整します。

- 7**  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「イメージ強調の設定項目」 [p.49](#)
- 「画質メニュー」 [p.72](#)

イメージ強調の設定項目

「イメージ強調」メニューでは以下の項目を調整できます。

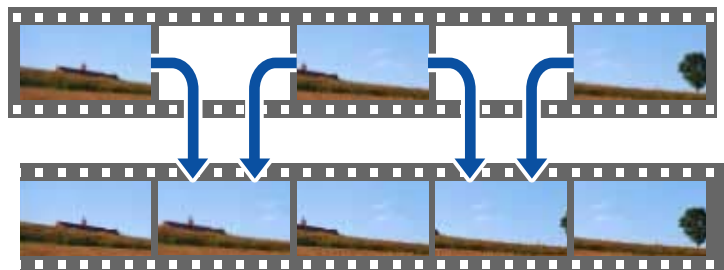
カラーモード	説明
4Kエンハンスメント	「オン」にすると、4K映像の解像感を最適化します。
イメージ強調プリセット	「ノイズリダクション」、「MPEGノイズリダクション」、「ディテール強調」の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
ノイズリダクション	映像のざらつきを抑えます。
MPEGノイズリダクション	MPEG動画を投写したときに輪郭に生じる点状のノイズやブロック状のノイズを抑えます。
ディテール強調	映像の明暗差を強調し、質感や素材感を際立たせます。



- 「ノイズリダクション」、「MPEGノイズリダクション」は以下の場合に有効です。
 - 「映像処理」が「きれい」のとき
 - 「映像」>「アドバンスド」>「映像処理」
 - 「イメージ強調プリセット」が「オフ」以外のとき
 - 入力信号が4K以外のとき
 - 入力信号が21:9信号（2560×1080）以外のとき
- 「ディテール強調」は「イメージ強調プリセット」が「オフ」以外の場合に有効です。

フレーム補間を設定する

〔フレーム補間〕機能を使って、前後のフレームから中間のフレームを自動生成して補間することで、動きの速い動画をなめらかに再生できます。



フレーム補間は以下の場合に有効です。

- ・〔映像処理〕が〔きれい〕のとき
 - ➡ 〔映像〕 > 〔アドバンスト〕 > 〔映像処理〕
- ・〔イメージ強調プリセット〕が〔オフ〕以外のとき
 - ➡ 〔画質〕 > 〔詳細設定〕 > 〔イメージ強調〕 > 〔イメージ強調プリセット〕
- ・入力信号が4K以外のとき
- ・〔4Kエンハンスメント〕が〔オフ〕のとき（入力信号が1080p 24Hzのときは〔オン〕でも有効です。）
 - ➡ 〔画質〕 > 〔詳細設定〕 > 〔イメージ強調〕 > 〔4Kエンハンスメント〕

1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

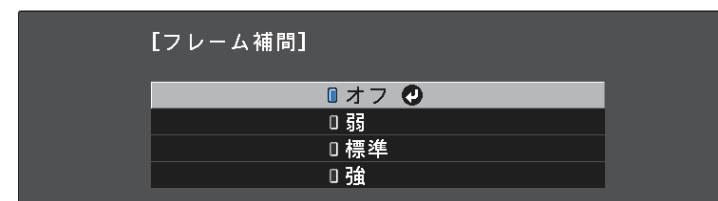
2 リモコンの  ボタンを押します。

3 〔画質〕を選択して、〔Enter〕ボタンを押します。



4 〔詳細設定〕 > 〔フレーム補間〕の順に選択して〔Enter〕ボタンを押します。

5 補間レベルを選択して〔Enter〕ボタンを押します。



6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

シーン適応ガンマを補正する

シーンに応じて階調表現を最適化し、階調つぶれを抑えたメリハリのある映像にします。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4 [詳細設定] > [シーン適応ガンマ補正] の順に選択して【Enter】ボタンを押します。
- 5 左右ボタンを押して、映像の色合いを調整します。値が大きいほど、明暗差がより強調されます。



- 6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

ランプの明るさを調整する

ランプの明るさを設定します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4 [光源出力] を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 明るさを選択して【Enter】ボタンを押します。



- 6** ③ボタンまたは④ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

オートアイリスを設定する

表示される映像の明るさに合わせて光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

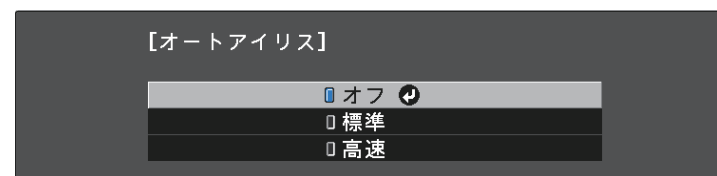
- 2** リモコンの③ボタンを押します。

- 3** 「画質」を選択して【Enter】ボタンを押します。



- 4** 「詳細設定」 > 「オートアイリス」の順に選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 以下のいずれかを選択し、【Enter】ボタンを押します。



- ・「標準」：標準の光量調整が行われます。
- ・「高速」：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

- 6** ③ボタンまたは④ボタンを押してメニューを終了します。

» 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.72](#)

投写映像の色合いを細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「色温度を調整する」 [p.54](#)
- ・「RGBを調整する（オフセット・ゲイン）」 [p.54](#)
- ・「色相、彩度、明度を調整する」 [p.55](#)
- ・「ガンマを調整する」 [p.56](#)

色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 「画質」を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4 「詳細設定」 > 「ホワイトバランス」 > 「色温度」の順に選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 5 左右ボタンを押して、映像の色合いを調整します。



値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。

- 6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

RGBを調整する（オフセット・ゲイン）

R（赤） G（緑） B（青）の各色について、暗い部分（[オフセット]）と明るい部分（[ゲイン]）の明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。

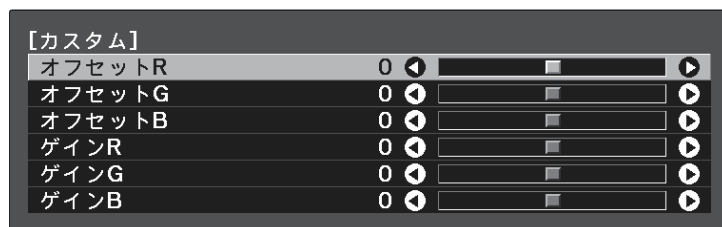
- 3** [画質] を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4** [詳細設定] > [ホワイトバランス] > [カスタム] の順に選択して【Enter】ボタンを押します。

- 5** 調整する色をR（赤）、G（緑）、B（青）から選択して、必要に応じて以下を調整します。

- ・ [オフセット] : 映像の暗い部分の明度を調整します。
- ・ [ゲイン] : 映像の明るい部分の明度を調整します。



値を高くすると明るくなり、値を低くすると暗くなります。

【オフセット】 : 明るくすると暗い部分の濃淡がはっきりします。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、濃淡がわかりにくくなります。

【ゲイン】 : 明るくすると明るい部分が白っぽくなり、濃淡がわかりにくくなります。暗くすると濃淡がはっきりします。

- 6** ボタンまたは ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- ・ 「画質メニュー」 [p.72](#)

色相、彩度、明度を調整する

映像の [色相]、[彩度]、[明度] を調整します。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。

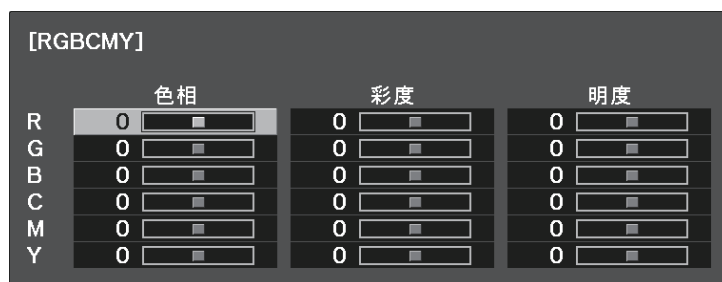
- 2** リモコンの ボタンを押します。

- 3** [画質] を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4** [詳細設定] > [RGBCMY] の順に選択して、【Enter】ボタンを押します。

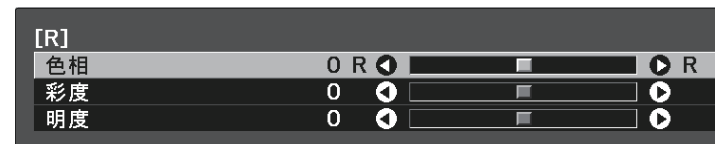
- 5** 調整する色を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 6** 必要に応じて以下を調整します。

- ・ [色相] : 映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
- ・ [彩度] : 映像全体の鮮やかさを調整します。

- ・ [明度] : 映像全体の明るさを調整します。



- 7** ③ボタンまたは④ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- ・ 「画質メニュー」 [p.72](#)

ガンマを調整する

[ガンマ] を調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2** リモコンの③ボタンを押します。

3 [画質] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

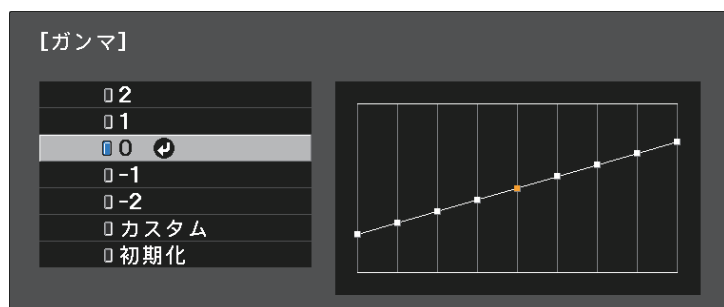


数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



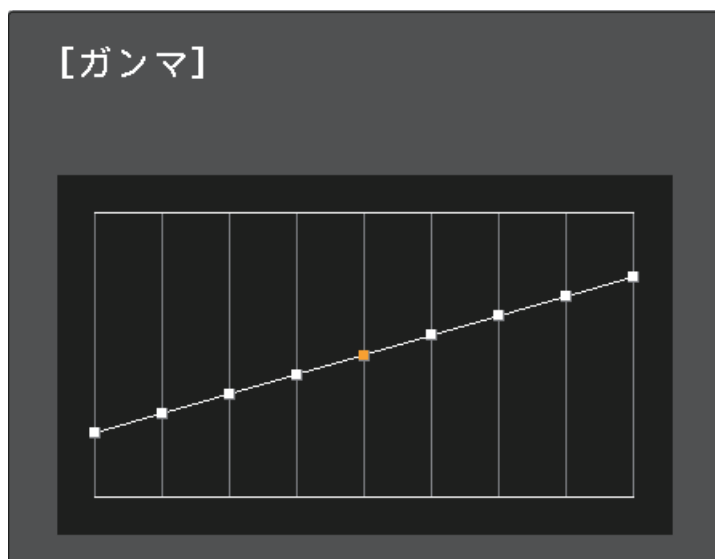
4 [詳細設定] > [ガンマ] の順に選択して、【Enter】ボタンを押します。

5 補正值を選んで調整します。



6 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 7** ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整して、【Enter】ボタンを押します。



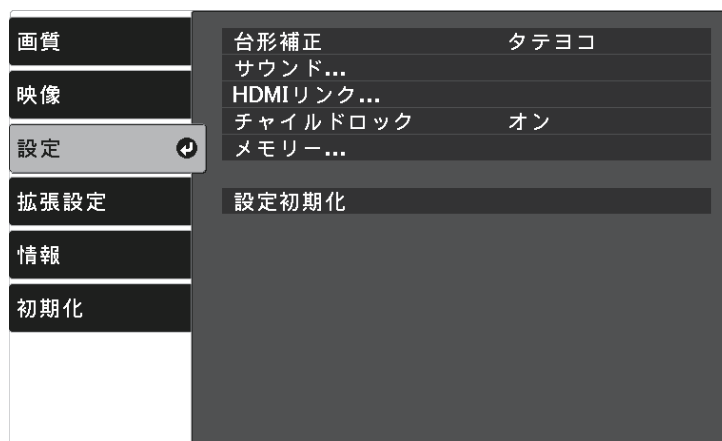
- 8**  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

【画質】メニューで調整した投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 【設定】を選択して、【Enter】ボタンを押します。

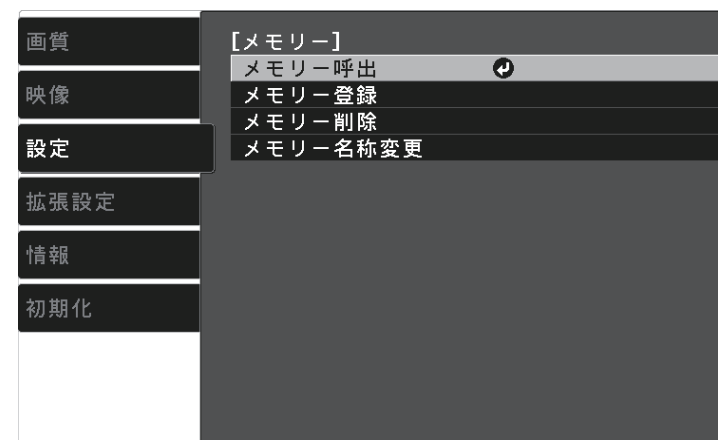


- 4 【メモリー】を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 5 次のいずれかを選択します。
 - ・【メモリー呼出】：登録したメモリーを呼び出して、現在の【画質】メニューの設定と置き換えます。
 - ・【メモリー登録】：現在の【画質】メニューの設定をメモリーに登録します（10件まで登録できます）。



すでに登録済みのメモリー名は青いマークで表示されます。登録済みのメモリー名を選択したときは、登録内容を消去して、現在の設定と置き換えます。

- ・【メモリー削除】：選択したメモリーを消去します。
- ・【メモリー名称変更】：メモリー名を変更します。



- 6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。



- ・メモリー登録時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示されます。
- ・登録されたメモリーをすべて消去するには、【初期化】メニューの【メモリー初期化】を選択します。

関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。

プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。

音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。



・AVアンプの音量を調整するときは、[設定]メニューで[HDMIリンク]を[オン]に、[音声出力機器]を[AVアンプ]に設定します。

☛ [設定] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]

☛ [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 [p.76](#)

1 プロジェクターの電源を入れ、投写を開始します。

2 リモコンの ボタンまたは ボタンを押して、音量を調整します。

音量調節画面が表示されます。

3 メニューから音量を調整するときは、[設定]メニューの[音量]を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

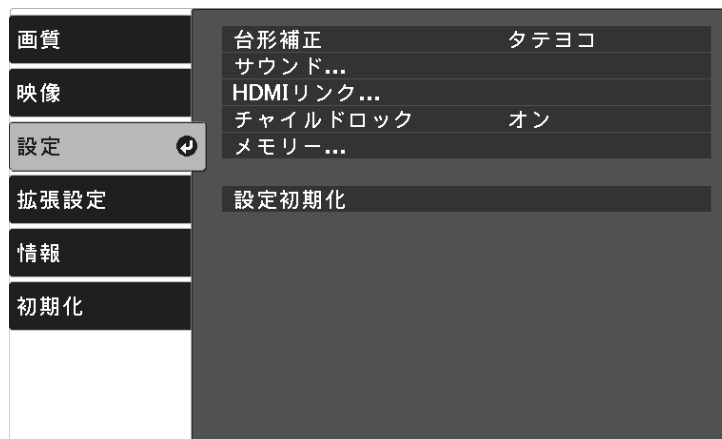


メディアストリーミング端末用リモコンを使ってメディアストリーミング端末の音量を最小に調整してあるときは、プロジェクターのリモコンでは音量を上げることができません。メディアストリーミング端末用リモコンで音量を上げてから調整してください。

本機は、投写映像の種類に応じて、音声を最適化するためのサウンドモードを用意しています。

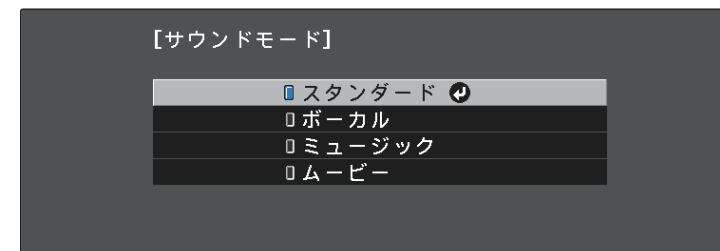
映像の種類や投写環境に合ったサウンドを選択できます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの  ボタンを押します。
- 3 「設定」を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 4 「サウンド」 > 「サウンドモード」の順に選択して、【Enter】ボタンを押します。

- 5 お好みのサウンドモードを選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 6  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- ・「サウンドモードの種類」 [p.61](#)
- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

サウンドモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のサウンドモードを設定できます。

サウンドモード	説明
スタンダード	すべての映像に適したサウンドモードです。
ボーカル	ボーカルやせりふを聴きやすくします。
ミュージック	音楽に適しています。低音、高音がクリアに再生されます。
ムービー	ビデオや映画を楽しむのに適しています。低音、高音が強調されます。

プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- ・「HDMIリンク機能」 [p.63](#)
- ・「映像と音声を一時的に遮断する（A/Vミュート）」 [p.66](#)
- ・「セキュリティー機能」 [p.67](#)

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

▶ 関連項目

- ・「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 [p.63](#)

HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

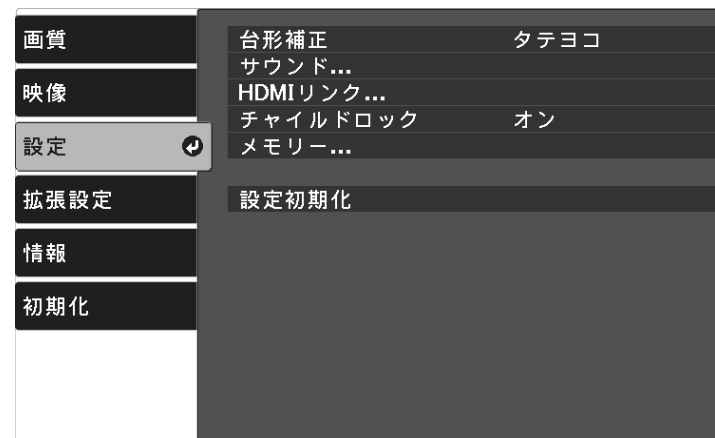
HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機器を操作できます。



- ・ HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

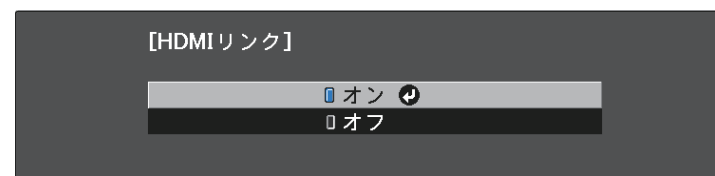
1 リモコンの ボタンを押します。

2 [設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。



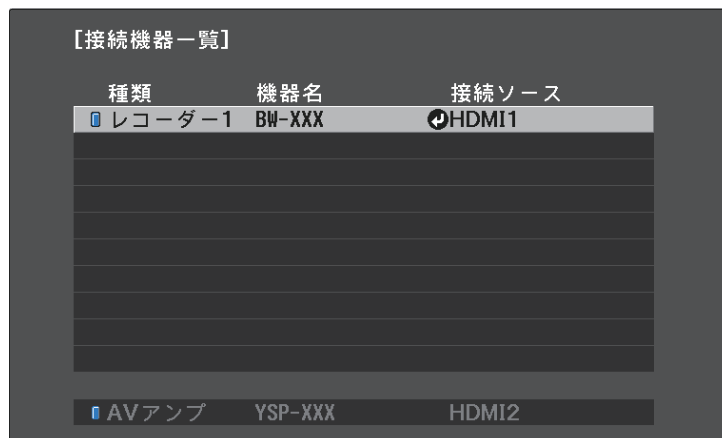
3 [HDMIリンク] を選択して【Enter】ボタンを押します。

4 [HDMIリンク] を [オン] に設定して、【Enter】ボタンを押します。



5 [接続機器一覧] を選択して、【Enter】ボタンを押します。
接続機器一覧が表示されます。

- 6** HDMIリンクで操作したり映像を表示したりする機器を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- ・ HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
- ・ 機器名が取得できないときは空欄になります。

- 7** 必要に応じて  ボタンを押して、HDMIリンクのオプション設定をします。

- ・ 【音声出力機器】：AVアンプを接続しているときに、音声の出力先を本機のスピーカーまたはAVアンプのどちらかに設定できます。
- ・ 【電源オン連動】：本機や接続機器の電源を入れたときに連動する操作を設定します。本機の電源を入れたときに、接続機器の電源も入るようにするには、【PJ→接続機器】または【双方向】を選択します。接続機器の電源を入れたときに、本機の電源も入るようにするには、【接続機器→PJ】または【双方向】を選択します。

- ・ 【電源オフ連動】：本機の電源オフに連動して、接続機器の電源も切るかどうかを設定します。



- ・ 【電源オフ連動】は、接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定している時のみ有効です。
- ・ 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。



- 8**  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、音量調整などの操作ができます。



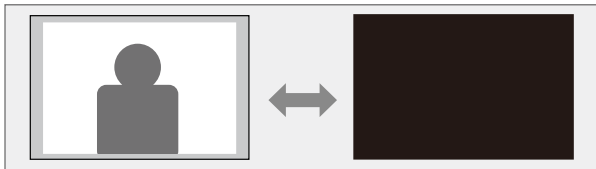
スマートスピーカーをお使いのときは、円滑な操作のために以下の設定をしてください。

- ・ [HDMIリンク] : [オン]
 - ・ [電源オン連動] : [双方向]、または [接続機器→PJ]
 - ・ [電源オフ連動] : [オン]
 - ・ [USB給電] : [常時オン]
- ☞ [拡張設定] > [動作設定] > [USB給電]

» 関連項目

- ・ 「設定メニュー」 [p.76](#)

投写映像と音声を一時的に消すことができます。停止中でも映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



- 1** リモコンの  ボタンを押します。
映像と音声遮断されます。
- 2** 投写を再開するときは、再度  ボタンを押します。

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- ・チャイルドロック：お子様が誤って電源を入れないように、本機の電源オンをロックできます。
- ・セキュリティケーブル：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

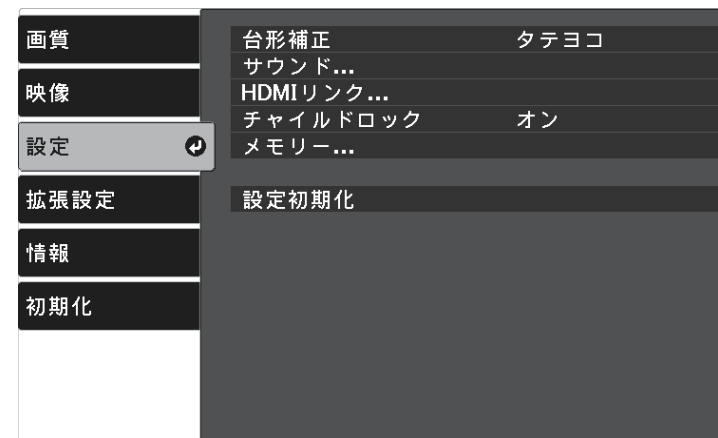
- ・「チャイルドロックを使用する」 [p.67](#)
- ・「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.68](#)

チャイルドロックを使用する

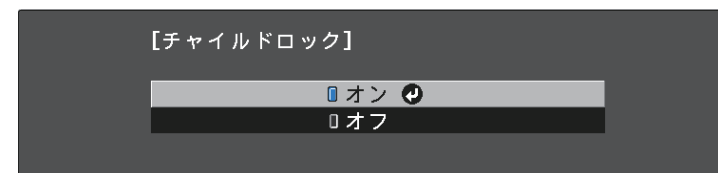
チャイルドロック機能を使うと、お子様が誤って電源を入れないように、本機の電源ボタンをロックできます。チャイルドロックをオンにしても、リモコンでの操作は可能なため、本機のリモコンはお子様の手の届くところには置かないでください。

1 リモコンの  ボタンを押します。

2 「設定」を選択し、【Enter】ボタンを押します。



3 「チャイルドロック」を「オン」に設定します。



- ・ロック時に電源をオンにするには、電源ボタンを3秒以上押します。
- ・「拡張設定」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定しているときは、「チャイルドロック」をオンに設定していても、電源コードを接続するだけでプロジェクターの電源がオンになりますので、ご注意ください。
☛ 「拡張設定」 > 「動作設定」 > 「ダイレクトパワーオン」

- 4** 確認メッセージが表示されたら [はい] を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 5** [チャイルドロック] の設定を有効にするには、プロジェクターを再起動します。

» 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

セキュリティケーブルを取り付ける

盗難防止のために、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムを、本機のセキュリティスロットに取り付けることができます。



マイクロセーバーセキュリティシステムについての詳細は、<http://www.kensington.com/>をご覧ください。

メニューの操作

プロジェクターメニューの使い方と基本的な設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターメニューを操作する」 [p.70](#)
- ・「ソフトキーボードを操作する」 [p.71](#)
- ・「画質メニュー」 [p.72](#)
- ・「映像メニュー」 [p.74](#)
- ・「設定メニュー」 [p.76](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)
- ・「情報メニュー」 [p.80](#)
- ・「初期化メニュー」 [p.82](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
[画質] メニューが表示されます。



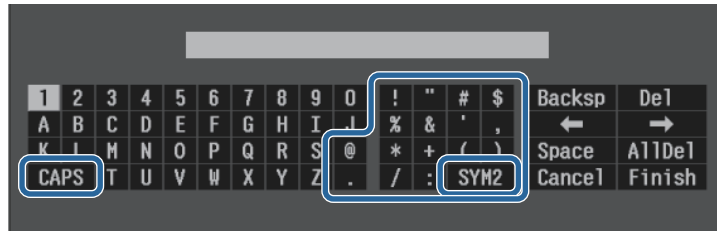
- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。
- 3 設定を変更するには、【Enter】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。
- 6 メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、[初期化] を選択します。

- 7 メニューの設定が終わったら、 ボタンを押します。

- 8  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択して、【Enter】ボタンを押します。



【CAPS】キーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。【SYM1/2】キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの【Finish】を選択して入力を確定します。【Cancel】を選択すると、テキストの入力を取り消します。

関連項目

- ・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.71](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789

文字タイプ	詳細
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }~

〔画質〕メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
光源出力	高 標準 低	ランプの明るさを選択します。
カラーモード	カラーモードの一覧を参照。	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
詳細設定	明るさ	映像の明るさを調整します。
	コントラスト	映像のコントラストを調整します。
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
	色合い	映像の色合いを調整します。
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
	ホワイトバランス	映像全体の色合いを調整します。 ・〔色温度〕：選択したカラーモードに応じて設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。 ・〔カスタム〕：R（赤）、G（緑）、B（青）の各色ごとにオフセットとゲインを調整します。
	フレーム補間	映像の動きの滑らかさを調整します。
	イメージ強調	映像全体の鮮やかさを調整します。
		〔4Kエンハンスメント〕：1画素を0.5画素ずつ斜めにシフトさせることで解像度を2倍にして投写します。高解像度の映像信号を精細に投写します。
		〔イメージ強調プリセット〕：〔ノイズリダクション〕、〔MPEGノイズリダクション〕、〔ディテール強調〕の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
		〔ノイズリダクション〕：映像のざらつきを抑えます。
		〔MPEGノイズリダクション〕：MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
		〔ディテール強調〕：映像のテクスチャーや質感を強調します。

設定	選択肢	説明
	シーン適応ガンマ補正	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。値が大きいほど、明暗差がより強調されます。
	ガンマ	補正値を選んだり、ガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。
	RGBCMY	R（赤）、G（緑）、B（青）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）ごとに色相、彩度、明度を調整します。
	オートアイリス	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。
画質初期化	—	選択されているカラーモードの「画質」メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

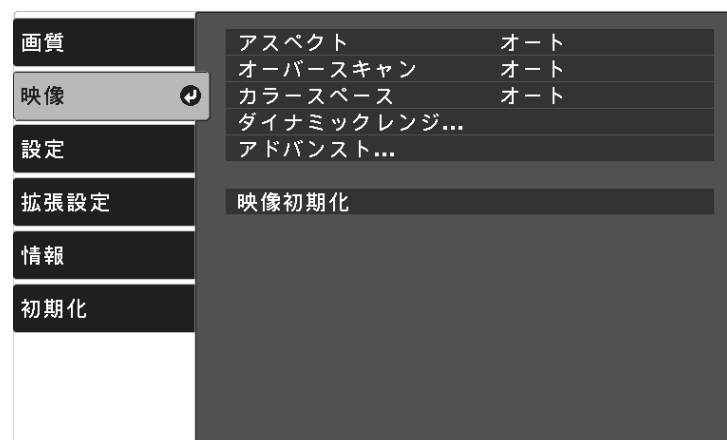


「明るさ」の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさは「光源出力」で切り替えます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードの種類」 [p.47](#)
- ・「映像の画質を調整する」 [p.48](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.54](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、〔映像〕メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
オーバースキャン	オート オフ 4% 8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。
カラースペース	オート BT.709 BT.2020	色空間の変換方式を設定します。

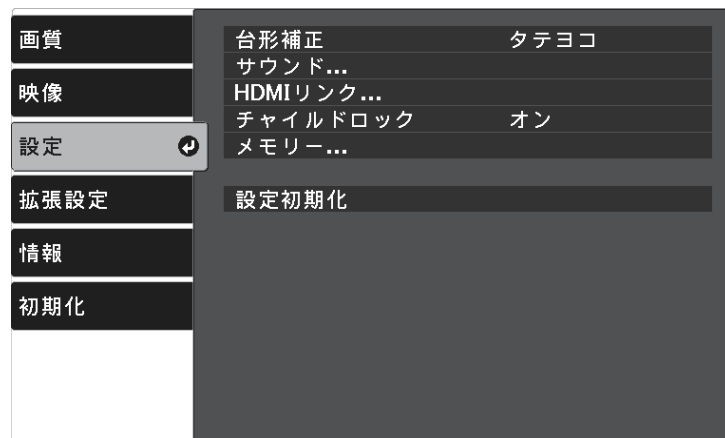
設定	選択肢	説明
ダイナミックレンジ	ダイナミックレンジ	映像の暗部、明部の表示できる範囲を切り替えます。〔オート〕（推奨）〔SDR〕〔HDR10〕〔HLG〕から選択します。
	映像信号	映像信号を表示します。
	HDR10 設定	HDR PQ方式でのダイナミックレンジのPQ（Perceptual Quantizer）カーブを切り替えます。 〔映像信号〕が〔HDR10〕、または〔ダイナミックレンジ〕が〔HDR10〕のときに表示されます。
	HLG 設定	HDR HLG方式でのダイナミックレンジのHLG（Hybrid Log Gamma）カーブを切り替えます。 〔映像信号〕が〔HLG〕、または〔ダイナミックレンジ〕が〔HLG〕のときに表示されます。
アドバンスト	ビデオレンジ	HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。
	EDID	映像機器に通知する本機の解像度情報を設定します。映像が正しく表示されないときは、この設定を変更してください。
	映像処理	ゲームなどの動きの速い投写映像に対して、応答速度を向上させる処理をします。 ・〔速い〕：映像の表示速度を速くします。 ・〔きれい〕：映像の画質が向上します。

設定	選択肢	説明
映像初期化	—	〔映像〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- ・「アスペクトモードの種類」 [p.45](#)

〔設定〕メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

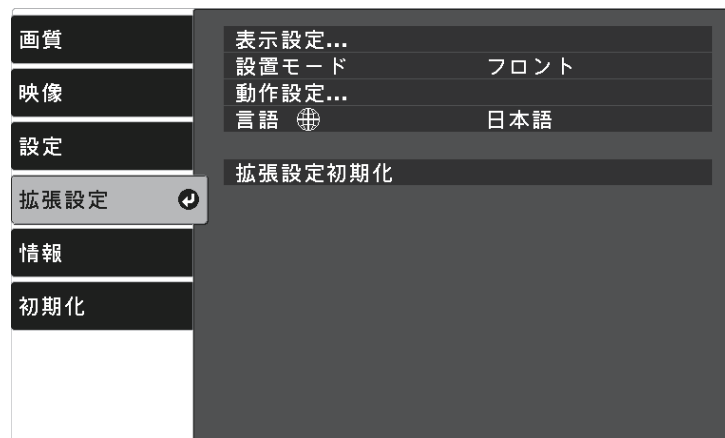


設定	選択肢	説明
台形補正		投写画面のゆがみを補正します。
	タテヨコ	・〔タテ補正〕：投写映像の縦方向のゆがみを補正します。 ・〔ヨコ補正〕：投写映像の横方向のゆがみを補正します。 ・〔自動タテ補正〕：縦方向の自動補正のオン/オフを設定します。 ・〔スライド式ヨコ補正〕：ヨコ補正スライダーの有効/無効を切り替えます。
	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
サウンド	音量	本機の内蔵スピーカーの音量を調整します。
	サウンドモード	再生するコンテンツの内容に適したサウンドモードを選択します。

設定	選択肢	説明
HDMIリンク		HDMIリンクの設定をします。
	接続機器一覧	HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	HDMIリンクのオン/オフを切り替えます。
	音声出力機器	AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを選択します。
	電源オン連動	本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。 ・〔オフ〕：電源の連動をオフにします。 ・〔双方向〕：本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 ・〔接続機器→PJ〕：接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 ・〔PJ→接続機器〕：本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。
チャイルドロック	オン オフ	お子様が誤って電源を入れないように、プロジェクターの電源ボタンをロックします。

設定	選択肢	説明
メモリー	メモリー呼出 メモリー登録 メモリー削除 メモリー名称変更	現在の映像の設定をメモリーに保存します。
設定初期化	—	〔設定〕メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 ・〔音声出力機器〕 ・〔電源オン連動〕 ・〔電源オフ連動〕 ・〔メモリー〕

【拡張設定】メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
表示設定		表示に関する設定をします。
	メッセージ表示	〔オン〕にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。メッセージを表示させたくないときは〔オフ〕を選択します。
	背景表示	入力信号がないときに表示する画面の色やロゴを選択します。
	スタートアップスクリーン	〔オン〕にすると、投写開始時にロゴを表示します。
	型番表示モード	プロジェクターの型番を表示します。

設定	選択肢	説明
	液晶アライメント	液晶パネルの画素の色ずれを補正します。 〔液晶アライメント〕：〔オン〕に設定すると、液晶アライメントが調整できます。 〔調整色〕：調整する色を選択します。 〔パターン色〕：調整時の背景パターンの色を選択します。 〔調整開始〕：液晶アライメントの調整を開始します。 〔メモリー〕：液晶アライメントの調整結果を保存します。 ・〔メモリー保存〕：現在の〔液晶アライメント〕の設定を本機のメモリーに保存します（3件まで保存できます）。 ・〔メモリー呼出〕：保存したメモリーを呼び出して、現在の〔液晶アライメント〕の設定と置き換えます。 ・〔メモリー名称変更〕：保存したメモリーの名称を変更します。 ・〔メモリー削除〕：選択したメモリーを消去します。 〔初期化〕：〔液晶アライメント〕で調整したすべての値を初期値に戻します。

設定	選択肢	説明
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定		本機の動作に関する設定をします。
	ダイレクトパワーオン	電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。
	スリープモード	〔オン〕に設定すると、一定時間映像信号の入力がないとき自動的に本機の電源が切れます。
	スリープモード時間	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
	イルミネーション	操作パネルのインジケータを消灯します。
	高地モード	標高約1,500 m以上の場所で本機を使うように動作を制御します。
言語	USB給電	〔常時オン〕：本機が映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けます。 〔投写時オン〕：本機が映像を投写しているときだけメディアストリーミング端末に電力を供給します。
	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。

設定	選択肢	説明
拡張設定初期化	—	〔拡張設定〕メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 ・〔設置モード〕 ・〔高地モード〕 ・〔USB給電〕 ・〔言語〕

〔情報〕メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



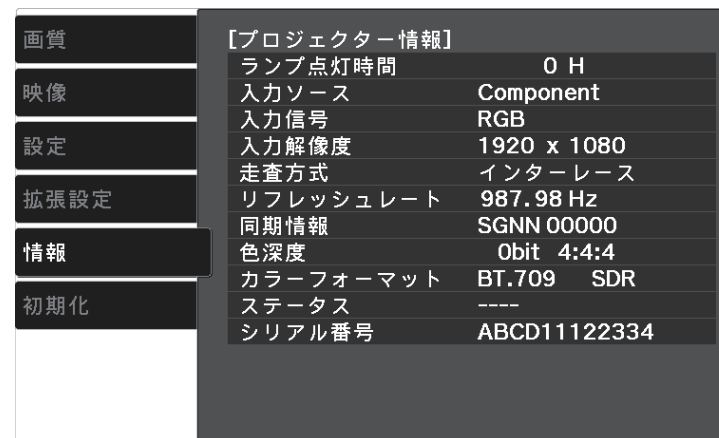
情報の項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

▶ 関連項目

- ・「情報メニュー - プロジェクター情報」 [p.80](#)

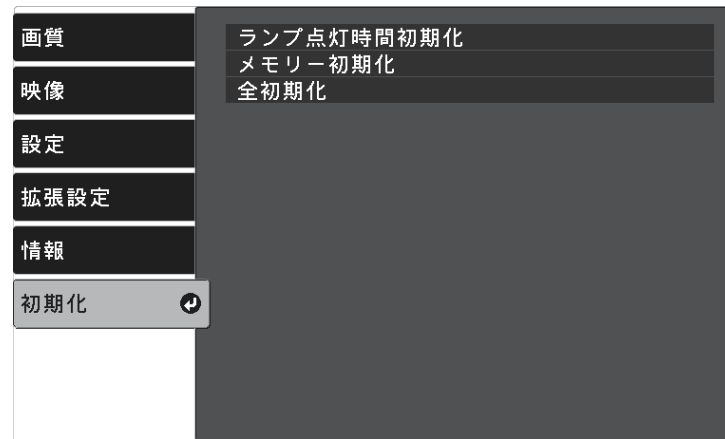
情報メニュー - プロジェクター情報

〔情報〕メニューの〔プロジェクター情報〕では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



情報の項目	説明
ランプ点灯時間	ランプを使用した時間（[H]）を表示します。 黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
走査方式	走査方式を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
色深度	色深度と色差フォーマットを表示します。

情報の項目	説明
カラーフォーマット	〔カラースペース〕と〔ダイナミックレンジ〕の情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。



設定	選択肢	説明
ランプ点灯時間初期化	—	ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻します。
メモリー初期化	—	メモリー名と登録内容を消去します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、〔全初期化〕を実行しても初期値に戻りません。

- ・メモリー
- ・液晶アライメント
- ・言語

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのメンテナンス」 [p.84](#)
- ・「レンズを清掃する」 [p.85](#)
- ・「本機を清掃する」 [p.86](#)
- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.87](#)
- ・「ランプをメンテナンスする」 [p.89](#)
- ・「メディアストリーミング端末を取り外す」 [p.94](#)
- ・「液晶パネルの色ずれを補正する（液晶アライメント）」 [p.97](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、ブロアーで取り除いてからレンズを拭いてください。

警告

- レンズを掃除するときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。
- レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- 光源消灯後すぐにレンズを拭かないでください。レンズが傷つく原因になります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- 本機のホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。3ヶ月に一度はエアフィルターを掃除することをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

▶ 関連項目

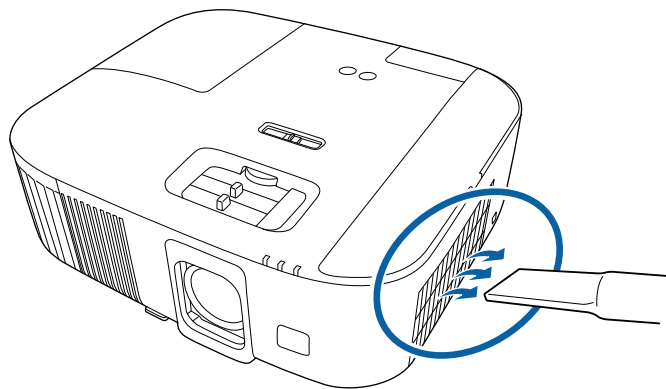
- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 [p.87](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.87](#)

エアフィルターと吸気口を清掃する

以下の場合、エアフィルターを清掃してください。

- ・エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- ・温度インジケーターがオレンジ色に点灯、または点滅したとき

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。



注意

- ・メディアストリーミング端末を接続していないときは、HDMIケーブルとUSB給電ケーブルを本機から取り外してください。取り外さないと、清掃時に端子部分にホコリが付着して故障につながるおそれがあります。
- ・エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- ・エアフィルターを直接掃除機で吸引しないでください。破損するおそれがあります。
- ・エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。
- ・ホコリを取り除くことができない場合や、エアフィルターが破損している場合は、新しいエアフィルターと交換してください。

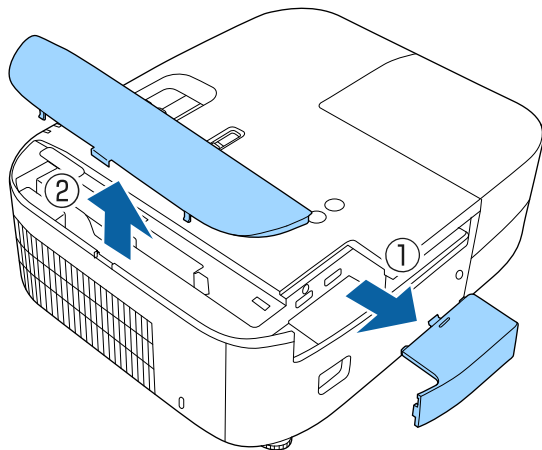
エアフィルターを交換する

以下の場合、エアフィルターを交換してください。

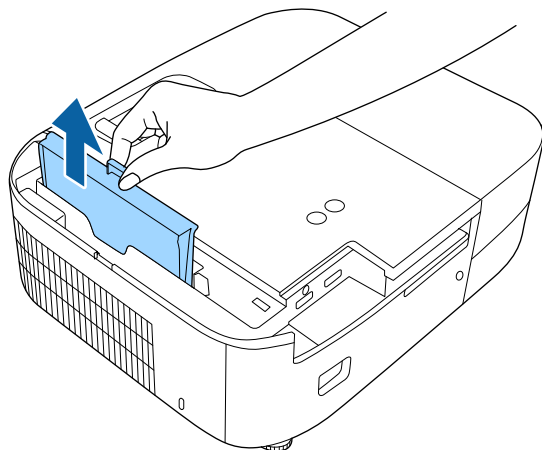
- ・エアフィルターが破損している

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターカバーを開けます。



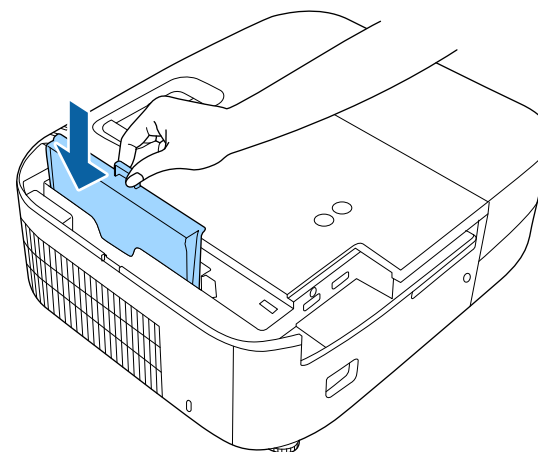
3 エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- ・ フィルターの枠：ABS
- ・ フィルター：ポリウレタンフォーム

4 新しいエアフィルターを差し込み、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。

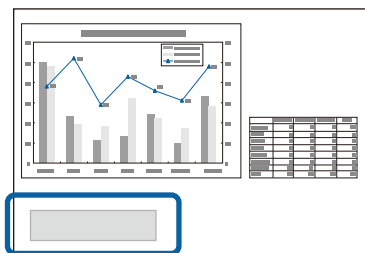
» 関連項目

- ・ 「消耗品」 [p.112](#)

ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合、ランプを交換してください。

- ・ 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ・ ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき（メッセージはランプ寿命の100時間前に到達したときに表示され、30秒経過すると消えます）



- ・ 電源インジケータが青色に点滅して、ランプインジケータが橙色に点滅したとき

注意

- ・ ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- ・ 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- ・ 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなることがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- ・ プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

▶ 関連項目

- ・ 「ランプを交換する」 [p.89](#)
- ・ 「ランプ点灯時間を初期化する」 [p.92](#)
- ・ 「本機仕様」 [p.116](#)
- ・ 「インジケータの見方」 [p.101](#)

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

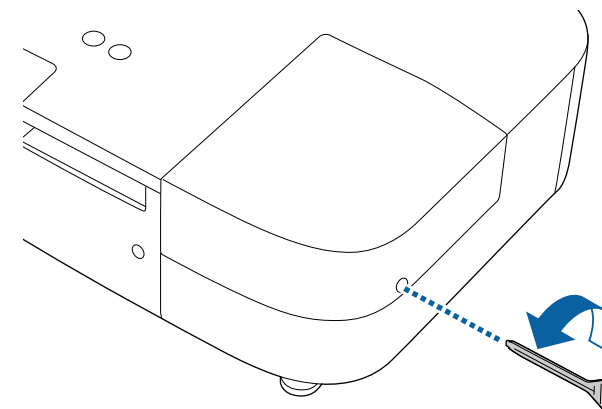
⚠ 警告

- ・ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。
- ・ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

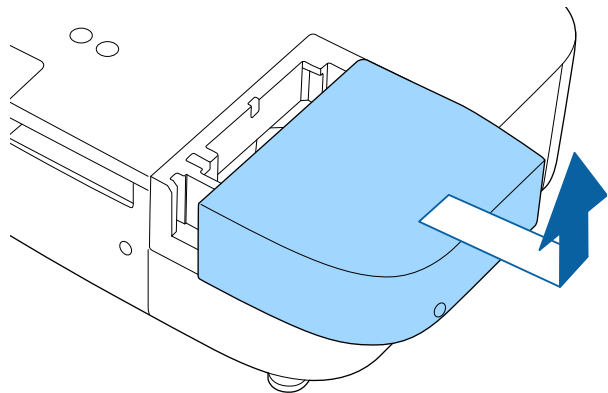
⚠ 警告

ランプが点灯しなくなって交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置した状態でランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。

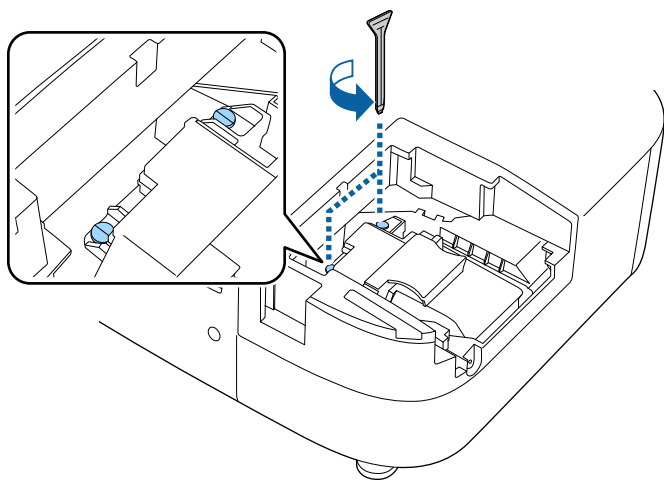
- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** ランプを最低1時間冷まします。
- 3** ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは+のドライバーでゆるめます。



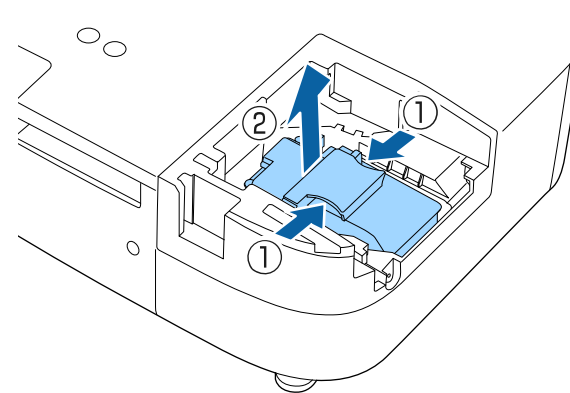
- 4** ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



- 5** ランプ固定ネジをゆるめます。ネジが完全に外れることはありません。

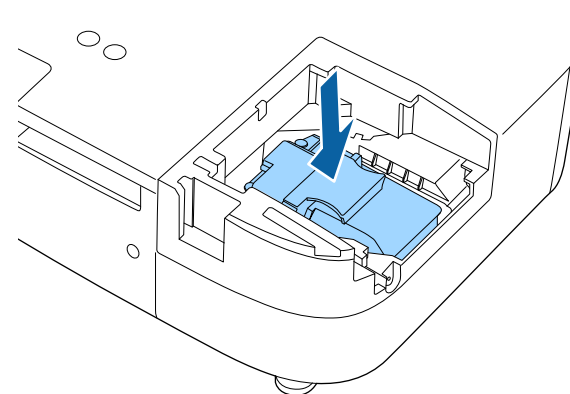


- 6** ランプの突起部をつまんで取り出します。



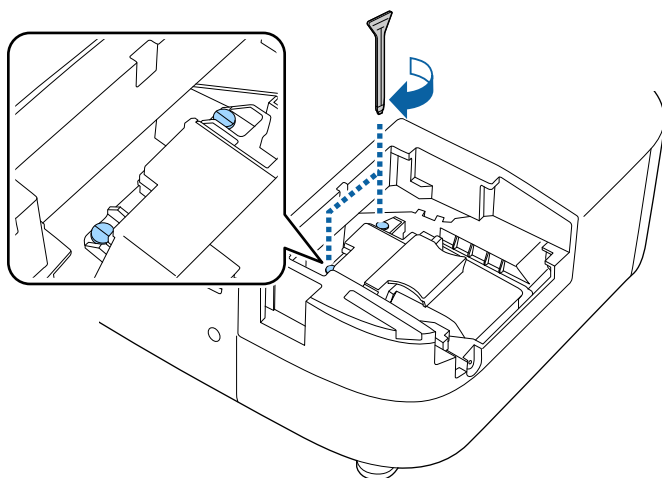
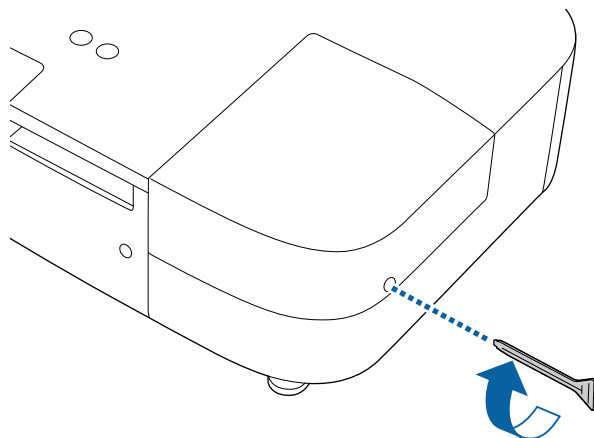
- ・ ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・ 本製品のランプには水銀 (Hg) が含まれています。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。一般ゴミに混ぜないでください。

- 7** 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。



注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

8 ランプ固定ネジを締めます。**9** ランプカバーを取り付けます。

- ・ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ・ランプカバーの浮きや変形がないことを確認してから使用してください。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

▶ 関連項目

- ・「消耗品」 [p.112](#)

ランプ点灯時間を初期化する

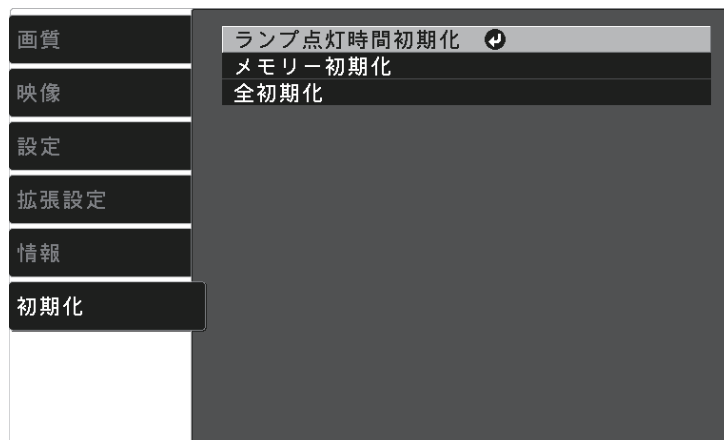
本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

1 プロジェクターの電源を入れます。**2** ボタンを押し、[初期化] メニューを選択して【Enter】ボタンを押します。

- 3** 「ランプ点灯時間初期化」を選択し、【Enter】ボタンを押します。



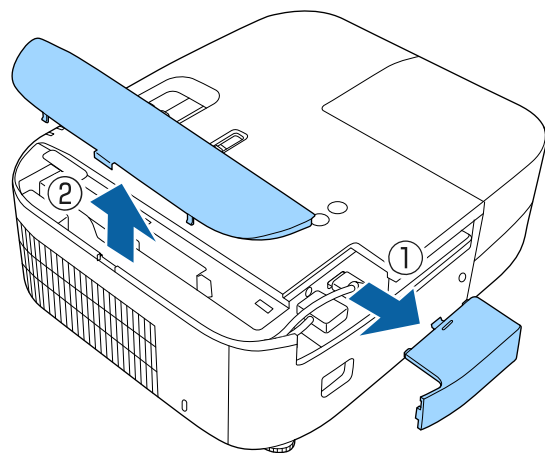
ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

- 4** 「はい」を選択し、【Enter】ボタンを押します。

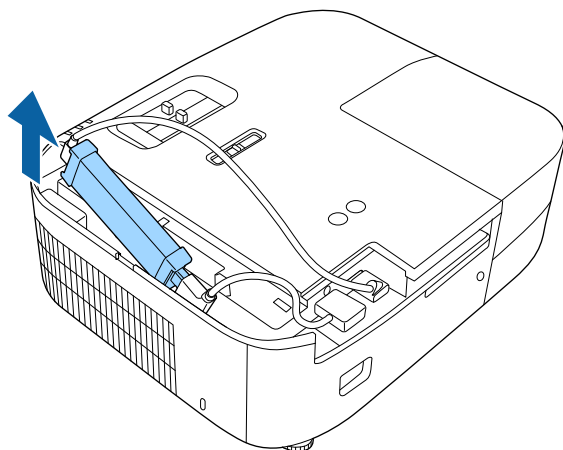
- 5**  ボタンまたは  ボタンを押してメニューを終了します。

本機にインストールされているエプソン製メディアストリーミング端末（ELPAP12）は以下の手順で取り外してください。

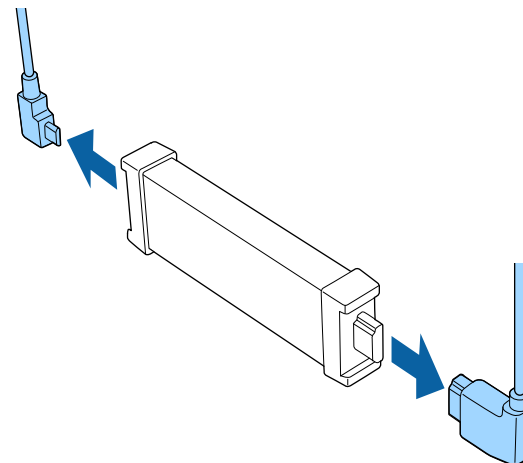
- 1** リアカバーとエアフィルターカバーを取り外します。



- 2** メディアストリーミング端末を引き出します。



- 3** HDMIケーブルとUSB給電ケーブルを外します。



注意

メディアストリーミング端末を接続していないときは、HDMIケーブルとUSB給電ケーブルを本機から取り外してください。取り外さないと、端子部分にホコリが付着して故障につながるおそれがあります。



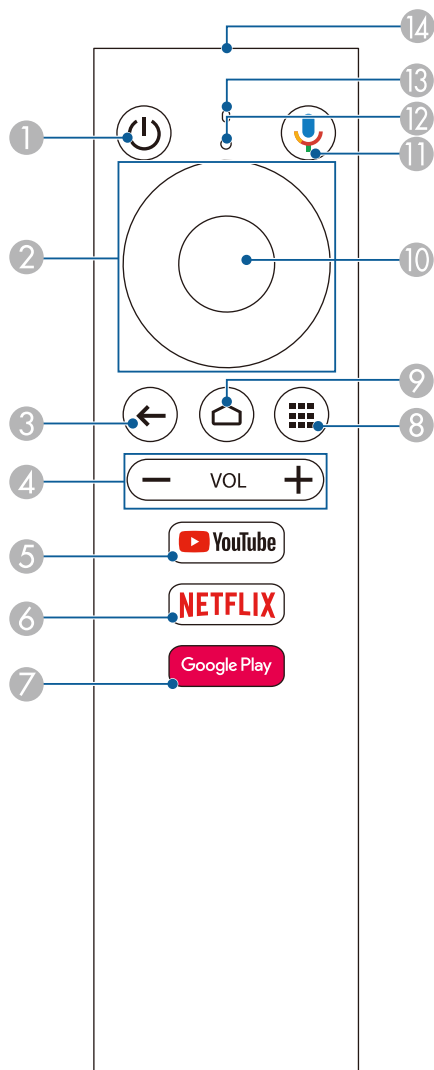
本機に内蔵されているメディアストリーミング端末を修理に出された場合、初期化してお返すことがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

関連項目

- ・「メディアストリーミング端末用リモコン」 [p.95](#)
- ・「メディアストリーミング端末用リモコンをペアリングする」 [p.96](#)

メディアストリーミング端末用リモコン

エプソン製メディアストリーミング端末（ELPAP12）を本機以外の映像機器に接続したときは、このリモコンで操作できます。



名称	働き
① 電源ボタン 	エプソン製メディアストリーミング端末の電源をオン/オフします。
② 上下左右ボタン 	メニュー項目を選択します。
③ 戻るボタン 	メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
④ 音量上げ/下げボタン 	エプソン製メディアストリーミング端末の音量を調整します。
⑤ YouTubeボタン 	YouTubeアプリを開きます。
⑥ Netflixボタン 	Netflixアプリを開きます。
⑦ Google Playボタン 	Google Playに接続します。
⑧ アプリボタン 	アプリの一覧を表示します。
⑨ ホームボタン 	Android TVのホーム画面を表示します。
⑩ 決定ボタン 	選択項目を決定して、次の階層に進みます。

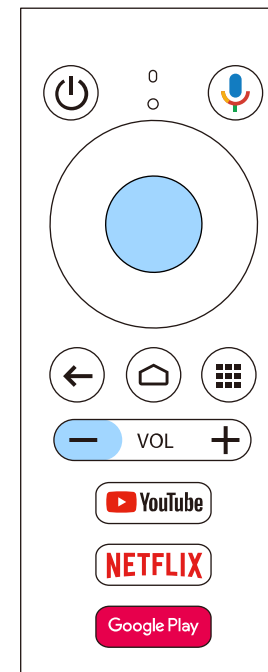
名称	働き
⑪ Google Assistantボタン 	400,000以上の映画やコンテンツに素早くアクセスできます。おすすめのコンテンツを楽しんだり、スマートホーム機器を操作したりできます。
⑫ インジケーター	リモコン信号が出力されているときに点灯します。
⑬ マイク	Google Assistantボタンを押したときに、ここで音声を感じます。
⑭ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

メディアストリーミング端末用リモコンをペアリングする

エプソン製メディアストリーミング端末（ELPAP12）を本機以外の映像機器に接続するときは、以下の手順でメディアストリーミング端末用リモコンのペアリングを行います。

- 1 プロジェクターリモコンの  ボタンを押して、Android TV のホーム画面を開きます。
- 2 プロジェクターリモコンでAndroid TVのホーム画面右上の  > [リモートとアクセサリ] > [アクセサリを追加] の順に選択します。

- 3 メディアストリーミング端末用リモコンの【Enter】ボタンと  ボタンを同時に押してペアリングモードにします。



ペアリングが始まると、メディアストリーミング端末用リモコンのインジケーターが点滅します。終了すると、インジケーターは消灯します。

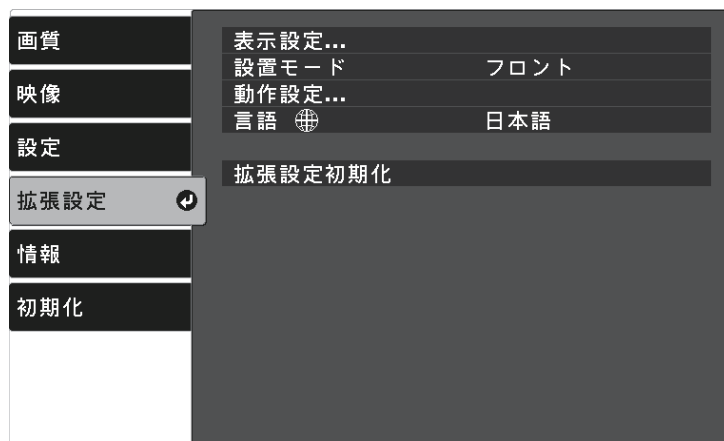
- 4 画面に表示される [EPSON ATV REMOTE] をプロジェクターリモコンで選択します。

液晶アライメント機能を使って、液晶パネルの画素の色ずれ（赤・青）を補正します。水平・垂直方向に0.125画素ずつ、それぞれ±3画素の範囲内で調整できます。



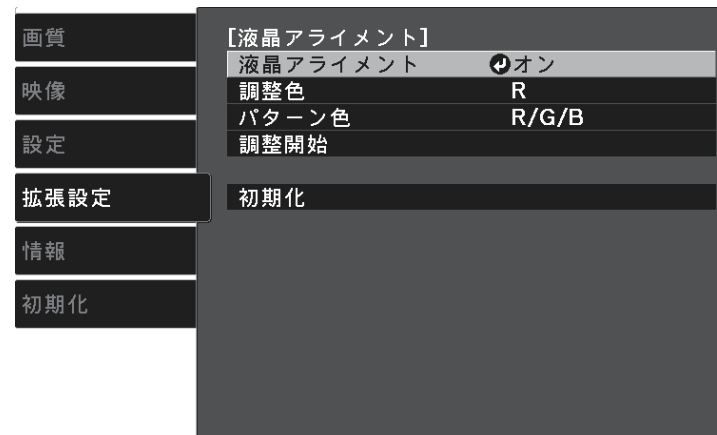
- ・調整できる色は赤と青です。緑は基準色パネルのため、調整できません。
- ・液晶アライメントでの調整後は、映像が劣化することがあります。
- ・画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

1 リモコンの ボタンを押し、[拡張設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。



2 [表示設定] > [液晶アライメント] の順に選択して【Enter】ボタンを押します。

3 [液晶アライメント] を選択して、[オン] に設定します。



4 [調整色] を選択して、以下のいずれかを選択します。

- ・ [R] : 赤を調整します。
- ・ [B] : 青を調整します。

5 [パターン色] を選択して、調整時に表示するグリッドの色を選択します。[調整色] の設定によって選択できる色は異なります。

- ・ [R/G/B] : グリッドは白で表示されます。
- ・ [R/G] : グリッドは黄色で表示されます。
- ・ [G/B] : グリッドはシアンで表示されます。

6 [調整開始] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

7 次のいずれかを選択します。

- ・ 液晶パネル全体の調整をするときは [画面全体をシフトする] を選択して、手順8に進みます。

- ・ より詳細な調整をするときは〔4隅を調整する〕を選択して、手順10に進みます。

8 リモコンの矢印ボタンを使って〔調整色〕で選択した色を調整し、【Enter】ボタンを押します。



調整結果が画面全体のグリッドに反映されます。

9 次のいずれかを選択します。

- ・ より詳細な調整をするときは〔4隅を調整する〕を選択します。
- ・ 終了するときは〔終了〕を選択します。

10 リモコンの矢印ボタンを使って、オレンジの四角で表示されたコーナーの色を調整し、【Enter】ボタンを押します。

11 4隅の調整が終わったら【Enter】ボタンを押します。

12 次のいずれかを選択します。

- ・ さらに調整が必要なときは〔交点を選択して調整〕を選択します。リモコンの矢印ボタンを使って、調整が必要な交点を選択し、【Enter】ボタンを押します。調整を行い、もう一度【Enter】ボタンを押します。同様の手順で他の交点を調整します。
- ・ 終了するときは〔終了〕を選択します。

13 調整結果を保存するときは、〔メモリー〕＞〔メモリー保存〕を選択します。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「トラブルの対処方法」 [p.100](#)
- ・「インジケーターの見方」 [p.101](#)
- ・「電源に関するトラブル」 [p.103](#)
- ・「映像に関するトラブル」 [p.104](#)
- ・「音声に関するトラブル」 [p.108](#)
- ・「リモコン操作に関するトラブル」 [p.109](#)
- ・「HDMIリンクに関するトラブル」 [p.110](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

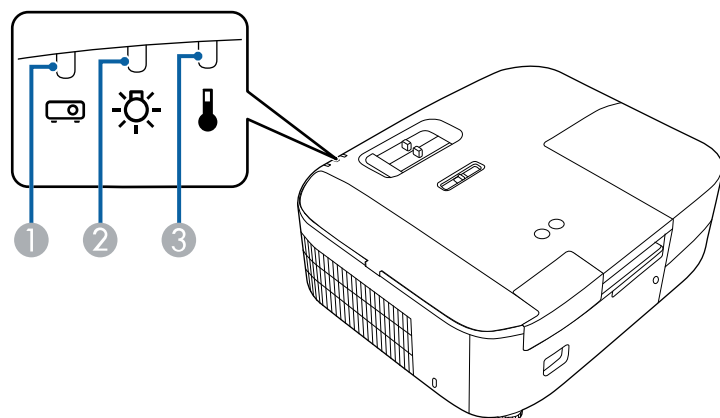
- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



- ① ステータスインジケータ
- ② ランプインジケータ
- ③ 温度インジケータ

プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
ステータス：青点灯 ランプ：消灯 温度：消灯	投写中の状態です。 〔USB給電〕を〔常時オン〕に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときでもステータスインジケータは青色に点灯します。 ☛ 〔拡張設定〕 > 〔動作設定〕 > 〔USB給電〕

インジケータの状態	状態と対処方法
ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒たつと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態またはスリープモードです。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
ステータス：状態依存 ランプ：消灯 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ・高温にならない環境で使用するようにします。

インジケータの状態	状態と対処方法
ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：橙点灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - 高温にならない環境で使用するようにします。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード] を [オン] に設定します。 ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
ステータス：消灯 ランプ：橙点灯 温度：消灯	ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。 - ランプを取り出して、ランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 - エアフィルターを掃除します。 - 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード] を [オン] にします。 ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ランプカバー開放状態です。 - ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
ステータス：状態依存 ランプ：橙点滅 温度：消灯	ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。
ステータス：消灯 ランプ：橙点灯 温度：橙点灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.78](#)
- 「エアフィルターと吸気口を清掃する」 [p.87](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.87](#)
- 「ランプを交換する」 [p.89](#)

電源に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「電源が入らない」 [p.103](#)
- ・「予期せず電源が切れる」 [p.103](#)

電源が入らない

電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** 次の点を確認します。
 - ・ リモコンの電池を確認します。
 - ・ 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
 - ・ メディアストリーミング端末用リモコンを使用していないことを確認します。プロジェクターリモコンを使用してください。
- 2** ロック機能を解除します。
 - ・ [チャイルドロック] を解除するには、操作パネルの電源ボタンを約3秒間押し続けます。
- 3** 電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- ・「チャイルドロックを使用する」 [p.67](#)

予期せず電源が切れる

本機の電源が予期せず切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** 一定時間操作が行われなかったため、スリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには[スリープモード]を[オフ]にします。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [スリープモード]



入力ソースが [Home] になっているときは [スリープモード] は設定できません。リモコンの  ボタンを押して入力ソースを [HDMI] にしてから、[スリープモード] を [オフ] に設定してください。

- 2** 温度インジケータが橙色に点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。



プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

投写映像に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「映像が表示されない」 [p.104](#)
- ・「映像がゆがむ」 [p.105](#)
- ・「映像がぼやける」 [p.105](#)
- ・「映像の一部が表示されない」 [p.105](#)
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.106](#)
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 [p.106](#)
- ・「映像が上下反転して表示される」 [p.106](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

1 本機の状態を確認します。

- ・ リモコンの  ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- ・ インジケーターの色と状態を確認します。
- ・ スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [スリープモード]

2 ケーブルの接続を確認します。

- ・ 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていることを確認します。
- ・ 本機とビデオ機器を直接接続してください。
- ・ HDMIケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。

3 ビデオ機器の状態を確認します。

- ・ メディアストリーミング端末から投写するときは、USB給電ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ・ メディアストリーミング端末やビデオ機器の電源が入っていることを確認し、再生ボタンを押してコンテンツを再生してみます。
- ・ 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

4 次の点を確認します。

- ・ 本機、および接続されたメディアストリーミング端末やビデオ機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- ・ ビデオ機器のCEC電源連動機能を有効にして、電源を入れ直します。
- ・ コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）
- ・ 本機のすべての設定を初期化します。

☛ [初期化] > [全初期化]

▶ 関連項目

- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.78](#)
- ・ 「初期化メニュー」 [p.82](#)

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- 2 「台形補正」で映像のゆがみを補正します。
 - ☛ 「設定」 > 「台形補正」 > 「タテヨコ」
 - ☛ 「設定」 > 「台形補正」 > 「Quick Corner」

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)
- ・「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.38](#)
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.39](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.40](#)

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 フォーカススライダーで映像のピントを合わせます。
- 2 次の点を確認します。
 - ・投写距離の推奨範囲内に設置します。
 - ・映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- 3 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に本機を設置するようにします。

- 4 「画質」メニューの「シャープネス」を調整して、投写映像の画質を向上させます。
 - ☛ 「画質」 > 「詳細設定」 > 「シャープネス」
- 5 コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)
- ・「フォーカススライダーで映像のピントを調整する」 [p.43](#)
- ・「レンズを清掃する」 [p.85](#)

映像の一部が表示されない

コンピューターの映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 ズームスライダーで映像のサイズを調整します。
- 2 正しい設置モードを選択していることを確認します。「拡張設定」メニューの「設置モード」で選択できます。
- 3 コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

» 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** 本機とビデオ機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - ・干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ・ケーブルの両端が確実に接続されている
 - ・延長ケーブルを使用していない
- 2** 映像のゆがみを補正したときは、[画質] メニューで [シャープネス] を低い値に設定し、投写映像の画質を向上させます。
☛ [画質] > [詳細設定] > [シャープネス]
- 3** 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- 4** コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。

» 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** [画質] メニューの [カラーモード] で、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- 2** お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- 3** [画質] メニューで [明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]などを設定します。
☛ [画質] > [詳細設定]
- 4** [映像] メニューで [ビデオレンジ] を正しく設定します。
☛ [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ]
- 5** 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- 6** 投写距離の推奨範囲内に設置します。

» 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.72](#)

映像が上下反転して表示される

正しい設置モードを選択します。

- ☛ [拡張設定] > [設置モード]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.78](#)

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押して音量を調整します。



メディアストリーミング端末用リモコンを使ってメディアストリーミング端末の音量を調整してあるときは、メディアストリーミング端末用リモコンで再度調整してください。

- 2** 本機とビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。

- 3** 本機の以下の設定を確認します。

- ・一時的に映像と音声を消しているときは、リモコンの  ボタンを押して、映像と音声を再開します。

- 4** ビデオ機器の以下の設定を確認します。

- ・メディアストリーミング端末、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- ・接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- ・MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。



リモコンを紛失したときは、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

- 1** リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- 2** メディアストリーミング端末用リモコンを使用していないことを確認します。プロジェクトーリモコンを使用してください。
- 3** リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 4** リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 5** 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- 6** 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- 7** メディアストリーミング端末とリモコンとのペアリングが切断されている可能性があります。その場合は、リモコンの  ボタンと右ボタンを同時に約 7 秒間押して再ペアリングしてください。



リモコンのペアリングを解除するときは、Android TV のホーム画面の  > [リモートとアクセサリ] > の順に選択し、該当のリモコンを選択して [ペアを解除] を選択します。

▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 [p.25](#)

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。

- 1** お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
- 2** 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 3** 接続機器が「接続機器一覧」に表示されているか確認します。
HDMI CEC規格に準拠していない機器は「接続機器一覧」に表示されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。
☛ 「設定」 > 「HDMIリンク」 > 「接続機器一覧」
- 4** HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 5** 接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 6** 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.76](#)

付録

お使いの製品の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「オプション・消耗品一覧」 [p.112](#)
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 [p.113](#)
- ・「対応解像度」 [p.115](#)
- ・「本機仕様」 [p.116](#)
- ・「外形寸法図」 [p.118](#)
- ・「警告ラベル」 [p.119](#)
- ・「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.120](#)
- ・「用語解説」 [p.122](#)
- ・「一般のご注意」 [p.124](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2022年3月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- ・「設置用金具」 [p.112](#)
- ・「外付けオプション」 [p.112](#)
- ・「消耗品」 [p.112](#)

設置用金具

天吊金具 **ELPMB23**

天井に取り付けるときに使用します。

セーフティーワイヤーセット **ELPWR01**

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使用します。

パイプ450（450mm） **ELPFP13**

パイプ700（700mm） **ELPFP14**

高天井および化粧天井に取り付けるときに使用します。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

消耗品

交換用ランプ **ELPLP97**

使用済みランプと交換します。

エアフィルター **ELPAF54**

使用済みエアフィルターと交換します。

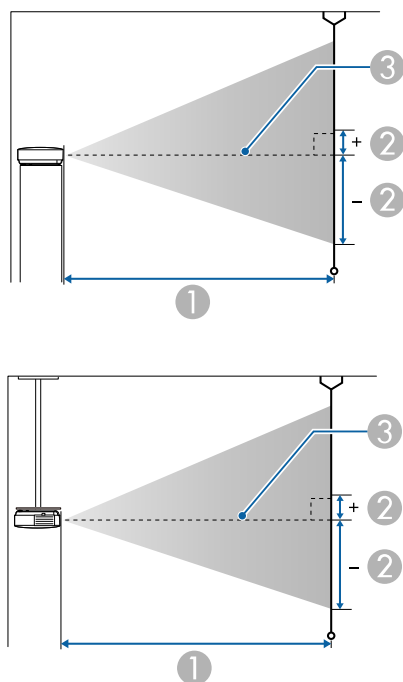
外付けオプション

メディアストリーミング端末 **ELPAP12**

メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。

レンズシフトによる調整の最大値は表のとおりです。



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（上下レンズシフトの設定により変わります） (cm)
- ③ レンズの中心

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
40型	89 × 50	115 - 189	-55 - 5
60型	133 × 75	175 - 285	-83 - 8
80型	177 × 100	234 - 381	-110 - 11
100型	221 × 125	294 - 477	-138 - 14
120型	266 × 149	353 - 573	-166 - 16
150型	332 × 187	443 - 718	-207 - 20
200型	443 × 249	591 - 958	-276 - 27
300型	664 × 374	888 - 1439	-414 - 41
400型	886 × 498	1186 - 1919	-552 - 54
500型	1107 × 623	1483 - 2400	-690 - 68

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
33型	67 × 50	117 - 191	-56 - 5
40型	81 × 61	142 - 232	-68 - 7
60型	122 × 91	215 - 350	-101 - 10
80型	163 × 122	288 - 467	-135 - 13
100型	203 × 152	360 - 585	-169 - 17
120型	244 × 183	433 - 703	-203 - 20
150型	305 × 229	542 - 879	-253 - 25
200型	406 × 305	724 - 1173	-338 - 33
300型	610 × 457	1088 - 1761	-507 - 50

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
400型	813 × 610	1452 - 2349	-676 - 66
408型	829 × 622	1481 - 2396	-689 - 67

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	上下レンズシフト 最下～最上
37型	80 × 50	116 - 189	-55 - 5
40型	86 × 54	125 - 205	-60 - 6
60型	129 × 81	189 - 308	-90 - 9
80型	172 × 108	254 - 412	-119 - 12
100型	215 × 135	318 - 516	-149 - 15
120型	258 × 162	382 - 620	-179 - 18
150型	323 × 202	479 - 776	-224 - 22
200型	431 × 269	639 - 1036	-298 - 29
300型	646 × 404	961 - 1555	-448 - 44
400型	862 × 538	1282 - 2075	-597 - 58
462型	995 × 622	1483 - 2399	-690 - 68

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は
『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

» **関連項目**

- ・「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.8](#)

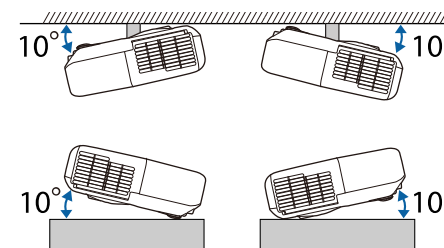
商品名	EH-TW6250
外形サイズ	幅333 × 高さ123 × 奥行き275 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.61型
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス
解像度	2,073,600ピクセル＊ Full HD（横1,920 × 縦1,080ドット） × 3
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1～1.62（光学ズーム）
ランプ	UHEランプ 定格200 W 型番：ELPLP97
ランプ寿命	〔画質〕メニューの〔光源出力〕の設定によって異なります。 〔高〕の場合：約4,500時間 〔標準〕の場合：約4,500時間 〔低〕の場合：約7,500時間
音声最大出力	10 W
スピーカー	1
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.2 - 1.5 A
定格消費電力（100-120Vエリア）	〔画質〕メニューの〔光源出力〕の設定によって異なります。 〔高〕の場合：316 W 〔標準〕の場合：280 W 〔低〕の場合：242 W
定格消費電力（220-240Vエリア）	〔画質〕メニューの〔光源出力〕の設定によって異なります。 〔高〕の場合：301 W 〔標準〕の場合：268 W 〔低〕の場合：231 W
待機時消費電力	0.3 W

動作高度	標高0～3,048 m
動作温度範囲**	標高0～2,286 m：+5～+35℃（湿度20～80%、結露しないこと） 標高2,287～3,048 m：+5～+30℃（湿度20～80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10～+60℃（湿度10～90%、結露しないこと）
質量	約4.1 kg

＊ピクセルシフト技術により、4K相当の解像度を実現しています。

** 使用する環境の温度が高くなったときは、ランプの明るさを自動的に落とします。（標高0～2,286mでは約35℃、標高2,287～3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。）

傾斜角度



10°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

関連項目

- ・「接続端子」 [p.116](#)

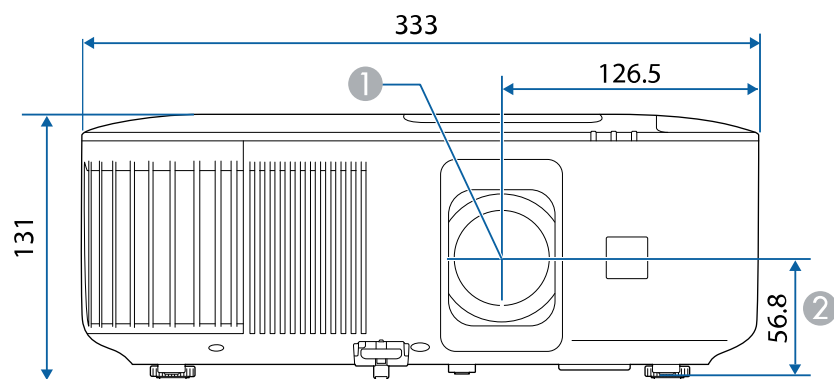
接続端子

Audio Out端子	ステレオミニピンジャック
-------------	--------------

HDMI1 (ARC)端子	HDMI
HDMI2端子	HDMI
USB-A (5V===2.0A) 端子	USBコネクタ (Aタイプ)
Service端子	USBコネクタ (Mini-B)

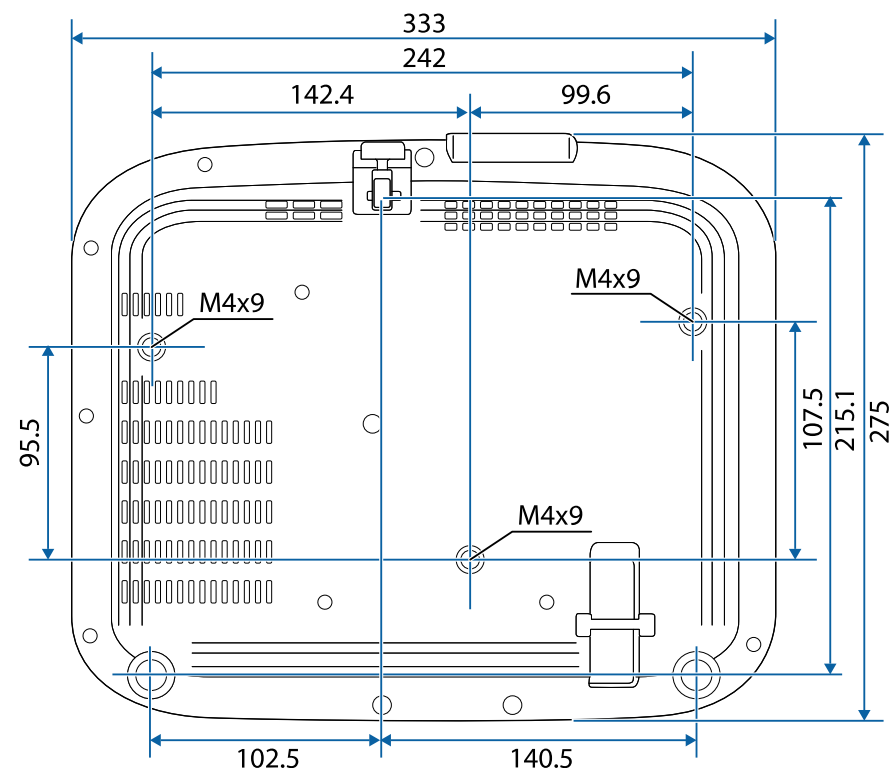


USB-A端子とService端子はUSB 2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

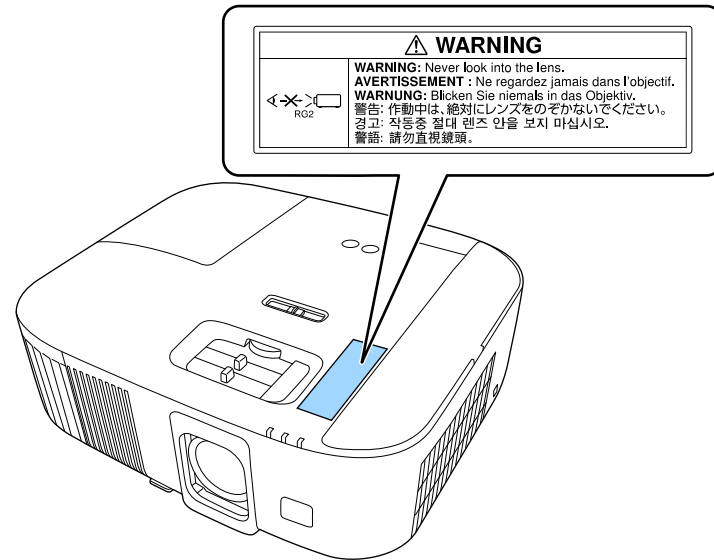


① レンズ中心

② レンズの中心から天吊り固定部までの寸法



本機には警告ラベルが貼られています。



投写中は、投写レンズから放射される光をのぞかないでください。
 (RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No. 5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IR など） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
30		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピュータのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピュータ向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・ 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） ・ 画面のアスペクト比は16:9
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。

SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相（山のずれ）を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのことを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「本機を廃棄するときは」 [p.124](#)
- ・「使用限定について」 [p.124](#)
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.124](#)
- ・「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.124](#)
- ・「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.124](#)
- ・「表記について」 [p.125](#)
- ・「商標について」 [p.125](#)
- ・「ご注意」 [p.125](#)
- ・「著作権について」 [p.126](#)

本機を廃棄するときは

本体

廃棄する前に、本体からランプを取り外してください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。一般ゴミに混ぜないでください。

ランプ

本製品のランプには水銀（Hg）が含まれています。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。一般ゴミに混ぜないでください。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設

計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- ・日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。
- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基つき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 11 operating system

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 8.1」、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 10.13.x
- macOS 10.14.x
- macOS 10.15.x
- macOS 11.0.x
- macOS 12.0.x

本書では、上記各オペレーティングシステムを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

iPad、iPhone、Mac、OS X、iOS、macOSはApple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Google、Google Play、YouTube、Android TV は Google LLC の商標です。

Googleアシスタントは、国や言語により使用できない場合があります。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商品名は、それぞれの所有者に帰属します。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。 **NETFLIX**

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2022 Seiko Epson Corporation

2022.4 414279000JA